

3-1

CHAPTER

この章で作成するWebサイトの紹介

この章では引き続き2章で作成したものに手を加えていき家具屋さん「WCB Furniture」のWebサイトを完成させていきます。まずは作るページの全体を確認していきましょう。

■ Webサイトを機能的にカスタマイズする

2章では基本的なWordPressの操作や機能に慣れていただきました。この章では「ブロック」という機能を使って、画像や動画、表を表示させたり、コンテンツの見た目を調整したりと、Webサイトをより機能的に美しくカスタマイズしていきます。

■ Homeのページの紹介

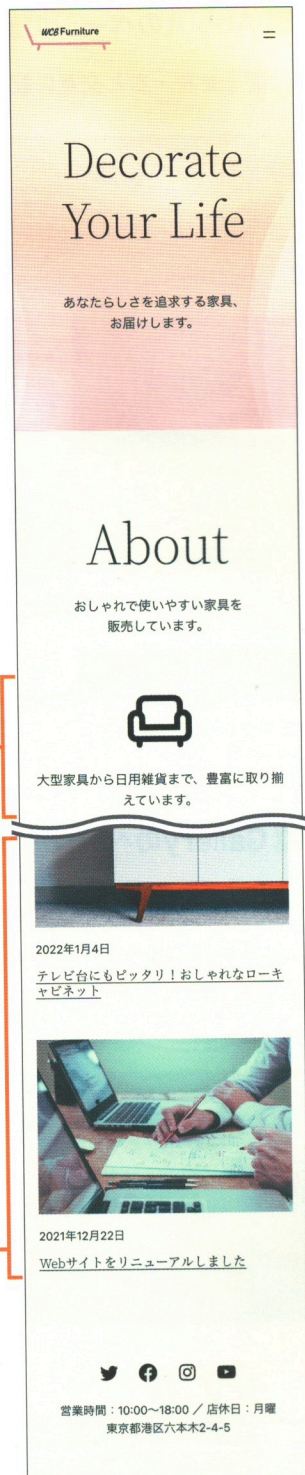
画面幅いっぱい広がる画像や、横に3つ並んだ画像や紹介文が特徴です。



HOMEのページのメインビジュアル（デスクトップサイズ表示）



デスクトップサイズ



3つ並んだ紹介文、モバイルでは縦に並ぶ

3つ並んだ画像

スマートフォンサイズ

Aboutのページの紹介

画像を左・右と交互に配置しリズム感を出しています。この章で背景に色を追加します。

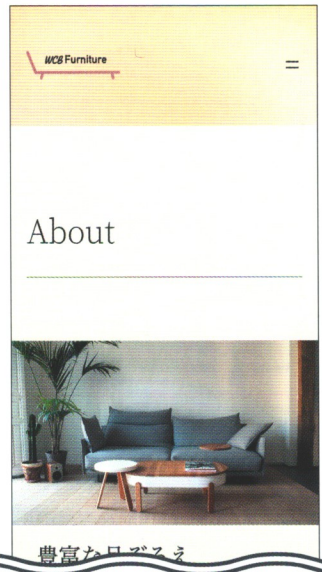


左に配置

右に配置

左に配置

デスクトップサイズ



スマートフォンサイズ

Galleryのページの紹介

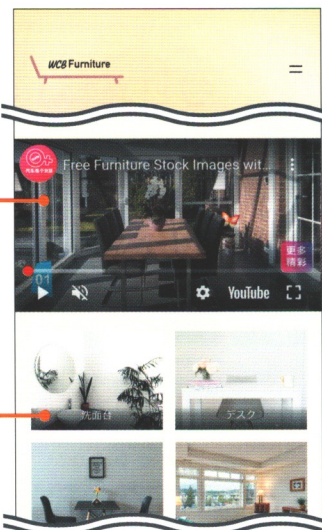
動画は画面幅いっぱいに大きく、画像は左右がぴったり揃うよう、タイル状に配置します。



大きく配置

タイル状に配置

デスクトップサイズ



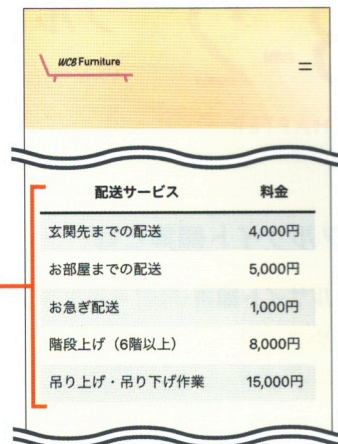
スマートフォンサイズ

Deliveryのページの紹介

表を使って情報を簡潔にわかりやすくまとめます。



デスクトップサイズ



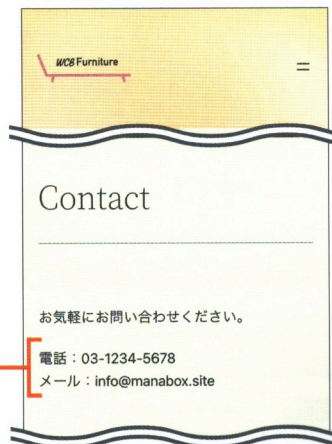
スマートフォンサイズ

Contactのページの紹介

連絡先をシンプルに表示します。



デスクトップサイズ



スマートフォンサイズ

POINT

4章の「4-5 お問い合わせフォームを設置しよう」P.209にて、フォームの機能を追加させる方法を紹介します。本章ではひとまず電話番号とメールアドレスのみを掲載しています。

3-2 フルサイト編集とは？

CHAPTER

WordPressバージョン5.9から本格的に導入されたWebサイトのあらゆる部分までカスタマイズすることができるフルサイト編集の概要をつかんでおきましょう！

■ フルサイト編集とは

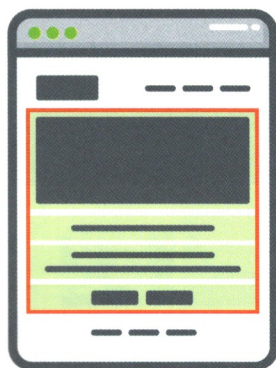
フルサイト編集(FSE = Full Site Editing と呼ばれます)とは、投稿やページだけでなく、ヘッダーやフッター、サイドバー、ナビゲーションメニューなど、Webサイト内のあらゆる部分にブロックを使って構成できる機能です。

つまり、これまでは投稿やページのコンテンツ部分のみブロックに対応していましたが、フルサイト編集機能のついたテーマであれば、**Webサイト全体がブロックに対応し、カスタマイズ可能**ということです。フルサイト編集機能のついたテーマのことを**ブロックテーマ**と言います。

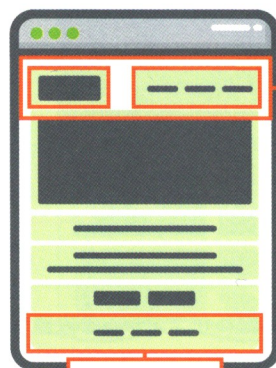
■ フルサイト編集機能でできること

- Webサイト全体のコンテンツをブロックで作成できる
- Webサイト全体のフォントや色の設定をコードを書かなくても変更できる
- ナビゲーションメニューの設定をブロックエディターと同じ感覚で行える

これまでのWordPressテーマでは、コンテンツ内容以外のパーツはPHPという言語を使ってファイルを作成する必要がありました*。しかし、フルサイト編集機能のあるテーマを使えばWebサイトに必要なパーツはブロックで視覚的に配置できるようになります。**プログラミングの知識がなくても、1からWebサイト制作ができる**ということです！



これまではコンテンツ部分の画像や見出し、本文などにブロックを利用できました。



ヘッダーエリア

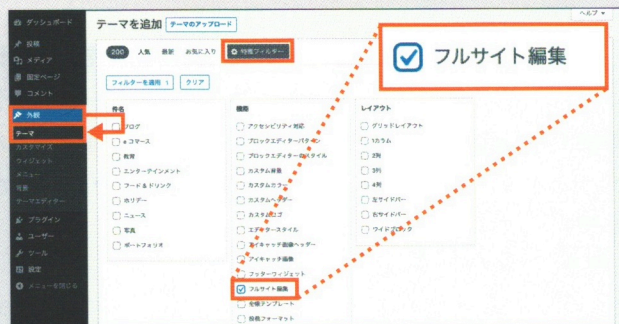
フルサイト編集ではヘッダーエリアのロゴ画像やナビゲーションメニュー、フッターエリアにもブロックが利用できます。

フッターエリア

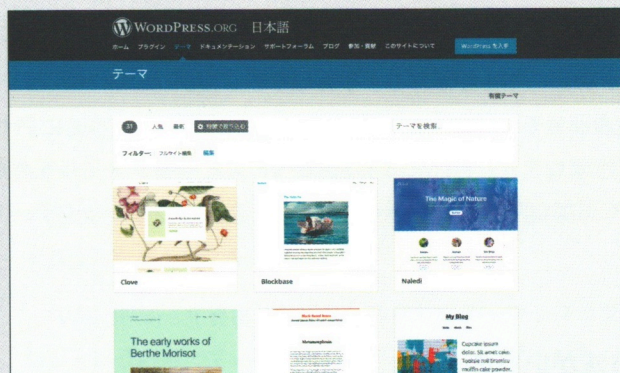
COLUMN

フルサイト編集に対応したテーマの探し方

本書ではデフォルトテーマである「Twenty Twenty-Two」を利用していますが、WordPress公式配布テーマでは、他にもフルサイト編集に対応したものが多くあります。以下の方法で好みのテーマを探し、利用してもよいでしょう。



管理画面の[外観]→[テーマ]をクリック、[新規追加]から[特徴フィルター]をクリックし、「機能」の項目で[フルサイト編集]にチェックを入れて絞り込み検索できます。



また、公式Webサイトからも確認できます。

<https://ja.wordpress.org/themes/tags/full-site-editing/>

※ PHP を使う方法は 6 章で紹介します。

3-3

CHAPTER

テーマの作成方法は2通りある！

WordPressは常にバージョンアップを続けており、特にブロックエディターを搭載してから、仕様や使い方が大きく変わってきています。テーマ制作の方法を見ていきましょう。

■ WordPressの変遷とテーマ制作の変化

WordPressを時代区分するのであれば、「ブロックエディター (P.068参照) 登場以前」と「以降」で分けられます。今はまさにその転換期と言えます、テーマの作成方法や使用方法も2通りあります。どちらの特徴も把握をしておいた方がよいでしょう。

■ ブロックテーマとは

「3-2 フルサイト編集とは？」(P.134)で紹介したような、Webサイト全体をブロックで構成するフルサイト編集に対応した新しいテーマがブロックテーマです。ヘッダーやフッターなど、共通部分の作成もすべて管理画面から行えるので、**プログラミングの知識がまったくなくてもWordPressのオリジナルWebサイトを作成できます**。本章ではこのブロックテーマでWebサイトを作っていく手順を紹介します。

■ クラシックテーマとは

フルサイト編集に対応していない、ブロックエディターが登場するまで主流であったテーマの作り方もあります。今は**クラシックテーマ**と呼ばれるようになりました。

ヘッダーやフッターなどの共通部分をはじめ、コンテンツ以外の部分は、基本的に**PHPというプログラミング言語を用いて作成します**。HTMLとCSSでベースとなるファイルを作成した後、**PHPでWordPressの機能を追加していく手順が一般的**です。なお、クラシックテーマの開発方法は6章で紹介します。

■ どちらのテーマ制作の方法がいいの？

プログラミングの知識がなくても手軽にWordPressでWebサイトを作るなら管理画面での作業のみで完結できるブロックテーマがおすすめです。利用するシーンも企業サイトやポートフォリオサイトなど、ページごとにレイアウトが大きく変わるWebサイトで活躍しそうです。

ただし、ブロックテーマではより複雑なレイアウトや画面全体にアニメーションを用いたようなWebサイトの制作は難しいでしょう。

対してクラシックテーマの制作はHTML、CSS、PHPなどの学習時間も多くなり、これからWordPressを使ってみたいという方には少しハードルが高いかもしれません。

しかし、その分細かい調整がしやすく、機能の追加や利用しない機能を省くなどのカスタマイズもできます。「クラシック」と呼ばれていますが、個人的にはこの制作手順はすぐにはなくならないと思っています。ブログやニュースサイト、メディアサイトをはじめとした、コンテンツ部分のみ更新していくスタイルのWebサイトも多く存在するからです。

自身が制作するWebサイトをどのように運用していくのか？ どの程度カスタマイズできた方がいいのか？などを基準に、どちらのテーマを選ぶか考えるとよいでしょう。

POINT

ブロックテーマはノーコード(コードを書かない)でもサイトが作れるのが強みです。クラシックテーマは細かい調整がかけられるのが強みです。

COLUMN

GPLライセンスってなに？

WordPressは利用するときの取り決めとして、GPLというライセンスを採用しています。GPLは「GNU General Public License」の略で、主に以下の4点を掲げています。

- どんな目的に対しても、プログラムを望むままに実行する自由
- プログラムがどのように動作しているか研究し、必要に応じて改造する自由
- 他の人を助けられるよう、コピーを再配布する自由
- 改変した版を他に配布する自由

「WordPressを自由に利用し、作成したテーマやプラグインなどを再配布してもいい」という内容です。再配布したテーマやプラグインも、同じくGPLライセンスを適用させるよう記されています。より詳しく知りたい場合は以下もご確認ください。

- GNU General Public License 日本語訳…<https://licenses.opensource.jp/GPL-2.0/gpl/gpl.ja.html>
- WordPressのドキュメント…<https://ja.wordpress.org/about/license/100-percent-gpl/>

3-4 背景色を変更しよう

CHAPTER

デザインの見栄えが変わるようにまずは簡単な背景色のカスタマイズから始めましょう。よく使う色は登録しておくこともできます。

■ 背景色を変更する

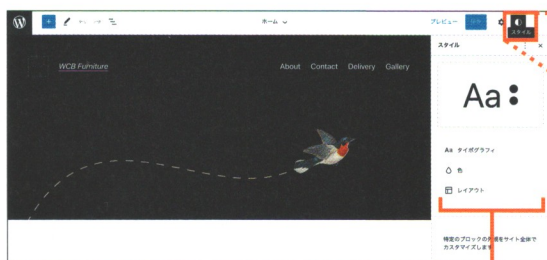
ここまではデフォルトのテーマの初期設定のままの見た目になっています。



エディター ベータ

※「エディター」機能はWordPress バージョン5.9から新たに追加された新機能です。まだ開発途上段階のため「ベータ」と記されています。

管理画面の [外観] → [エディター] をクリックしてエディターを表示します。



スタイル クリック

投稿や固定ページとよく似た画面が表示されます。少し異なるのは右上に [スタイル] アイコンが表示されている点です。クリックすると右側に「タイポグラフィ」や「色」「レイアウト」を設定する項目が表示されます。



各種設定できる

[色] をクリックした

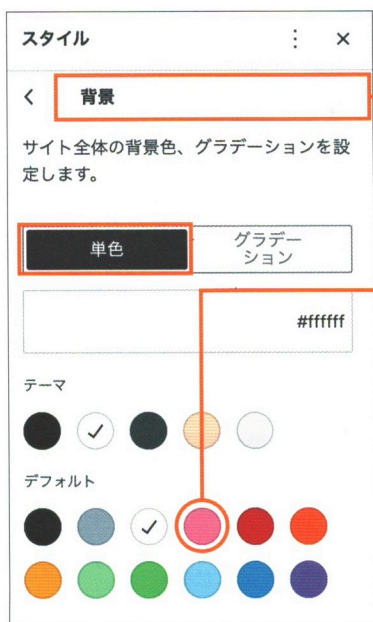
あらかじめ用意されている配色

背景色

文字色

リンクテキストの色

今回はこの中の [色] をクリックします。「パレット」の項目にはあらかじめ用意されている配色が、「要素」の項目には現在設定されている背景色や文字色、リンクテキストの色が表示されています。



[背景] をクリックした

[濃いピンク] をクリック

[背景] をクリックすると、テーマやデフォルトで用意されている色が表示されています。試しに [濃いピンク] をクリックしてみましょう。



さらに[保存] をクリック

画面右上の [保存] ボタンをクリックし、さらに [保存] ボタンをクリックします。



白の背景が濃いピンクに変わった

POINT

グラデーションカラーも用意されています。



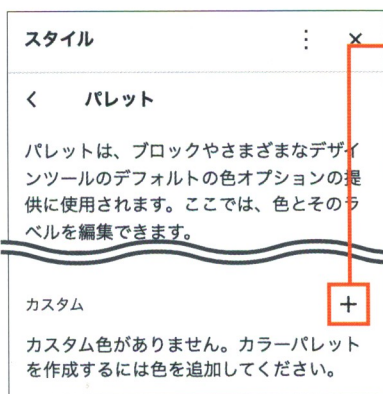
クリックして表示

白だった背景の色が変わりました。ただ、今回はここでは用意されていない「薄いベージュ」の色に変更したいと思います。用意されていない色は登録する必要があります。続けて見ていきましょう。

■ カスタムパレットに色を登録しよう



「背景」の左側にある [背景] をクリックして「色」の画面に戻ります。続いて [パレット] をクリックしましょう。



画面の下に [カスタム] という項目があります。右端の [+] アイコンをクリックして新規登録していきます。



カラーピッカーが表示されるので、円をドラッグして色を調整するか、右側の [詳細入力を表示] アイコンをクリックして直接カラーコードを入力します。ここでは直接入力し「#f9f9f4」というカラーコードを登録しました。

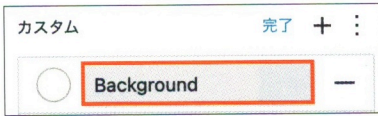
POINT

WordPress 6.0で追加された [表示スタイル] をクリックすると、あらかじめ用意されている背景色や文字色、フォントなどをまとめたスタイルが表示されます。ワンクリックでスタイルを変更できるので、好みのものがあれば利用してみるとよいでしょう。



POINT

「# (ハッシュ)」から始まる6桁の英数字は、カラーコードと呼ばれる色の指定方法です。「0, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, a, b, c, d, e, f」の16文字を使った16進数で作られています。6桁のうち、左2つが赤 (Red)、真ん中2つが緑 (Green)、右2つが青 (Blue) の度合いを表しています。



下段の「カスタム」の項目でわかりやすいように色の名前をつけておくとう便利です。ここでは「Background」と入力しました。



この後の工程で利用する色も、一緒に登録しておきましょう。同様のやり方で「+」をクリックし新規色を追加します。カラーコードは「#cc9999」、名前を「Main」としました。



「パレット」の「<」をクリックし「色」の画面に戻った

クリック

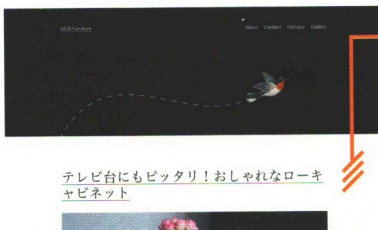
パレットに色を登録するだけでは反映されないで、<」をクリックし、元の「色」の画面に戻って、再度「背景」をクリックします。



「カスタム」の項目

「Background」の色をクリック

「カスタム」の項目に表示された背景色をクリックして「保存」します。



背景色が変更された

背景色が変更されました。薄いページなので少しわかりづらいですが、きちんと反映されています。

3-5

CHAPTER

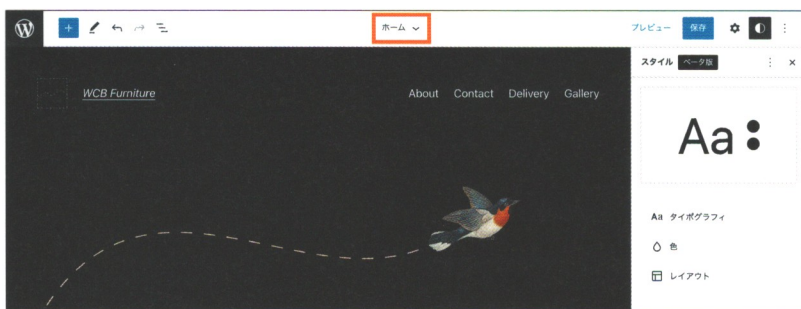
ホームの作成①

カラムを挿入しよう

ここからは実際にブロックを組み合わせてホームの画面を作成していきます。はじめにカラムの挿入を行います。

■ ホームの編集画面を確認する

管理画面の [外観] → [エディター] で「ホーム」の編集画面を開きます。ここで作業をしていきましょう。



画面上部中央が「ホーム」になっていることを確認して進めていきましょう。

■ カラムとは

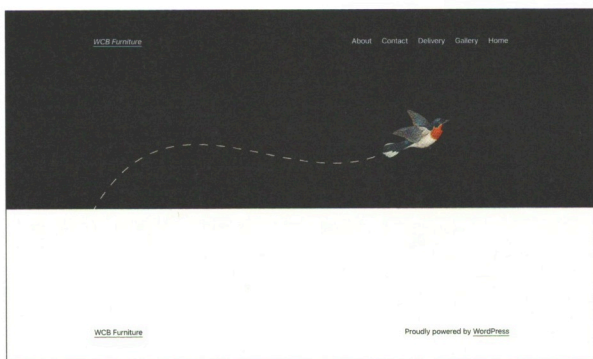
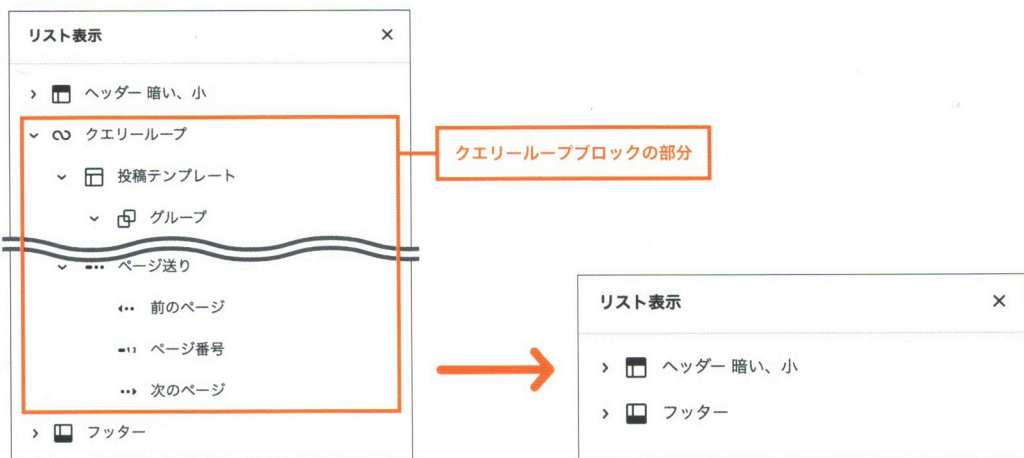
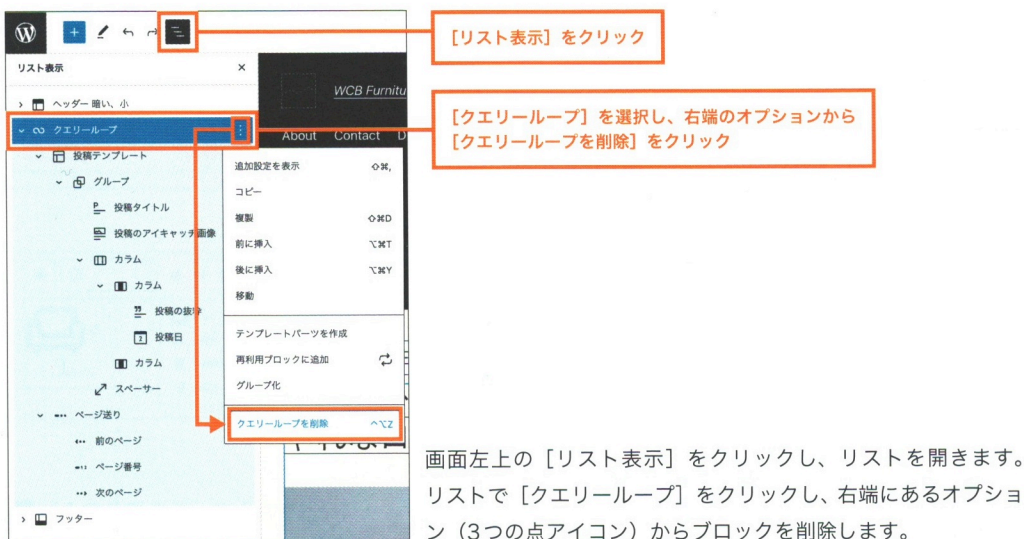
カラムとは縦の列のことです。任意のブロックを横に並べるにはカラムブロックを使用しましょう。なお、カラムブロックの中に他のブロックが入るので、ブロックが重なり作業がわかりづらくなりがちです。今作業しているブロックがどれなのか確認して進めていきましょう。

■ デフォルトのコンテンツを削除する

まずあらかじめ用意されていたコンテンツを削除しておきます。ここではヘッダーとフッターの間に、クエリーループ[※]というブロックが設置されています。独自コンテンツへ作り変えるため、ヘッダーとフッターは残しておき、間にあるクエリーループブロックを削除します。

「2-19 ブロックを並べ替えよう」P.090で紹介したリスト表示を利用すると構造が可視化されてわかりやすくなります。ぜひ利用してみましょう。

※クエリーループブロック … 指定した条件に合わせて記事の情報を取得し、表示するためのもの。このページでは最新の投稿が表示されている。

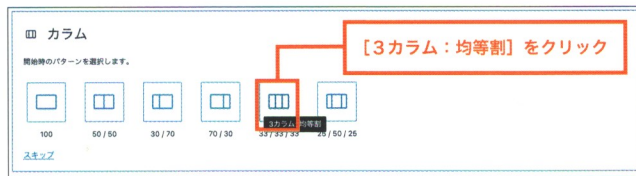


プレビューで見るとこのようにヘッダーとフッターのみ表示されます。

■ カラムブロックを挿入する

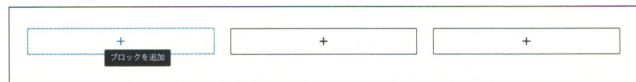


[ブロック挿入ツールを切り替え] **+** を選択、「デザイン」の項目の [カラム] をクリックし、ヘッダーブロックの下に新規カラムブロックを挿入します。

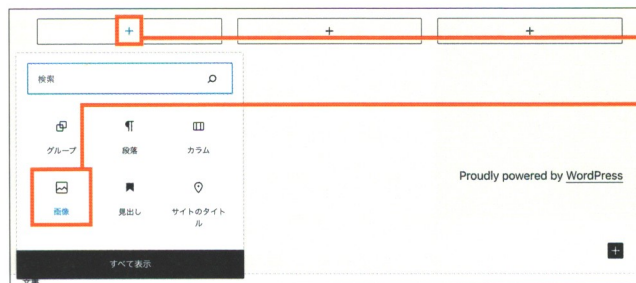


どのように横並びにするのかが選択できます。今回は3つのブロックを並べたいので [3カラム：均等割] を選択します。

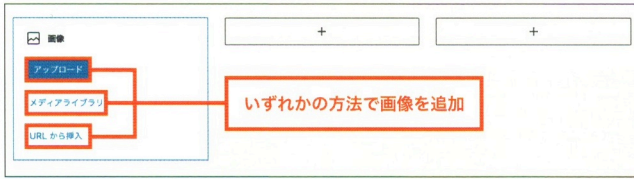
■ カラム内に別のブロックを追加する



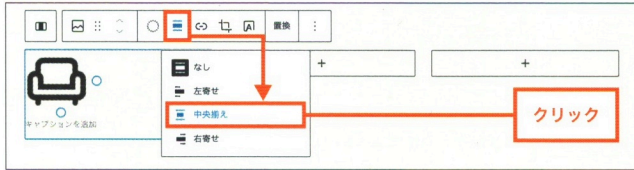
枠線が3つと、その中に [ブロックを追加] の **+** アイコンが表示されました。



+ アイコンをクリックすると、どのブロックを追加するか選択できます。[画像] をクリックして画像ブロックを追加しましょう。

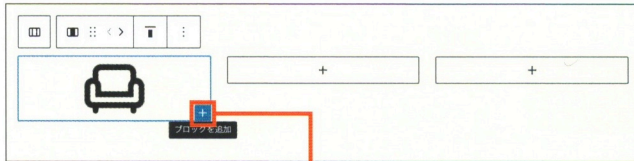


これまでと同様、表示したい画像を「アップロード」「メディアライブラリ」「URLから挿入」のいずれかの方法で画像を追加します。



画像が追加されました。カラム内の中央に表示させたいので、[配置を変更] アイコンから [中央揃え] をクリックします。

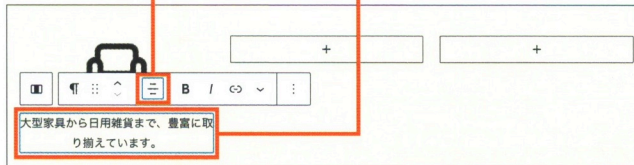
■ カラム内に段落ブロックで文章を追加する



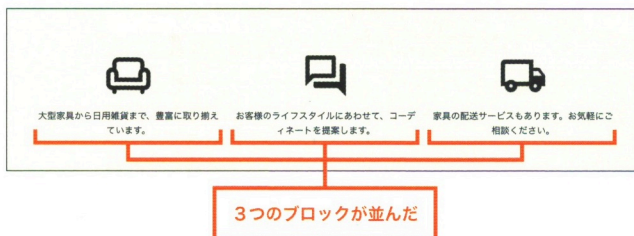
画像ではなく、画像を囲っている枠を選択すると、右下に **+** アイコンが表示され、クリックするとブロックを追加できます。

POINT

画像を選択している状態で **Enter** (**Return**) キーを押しても同様に追加可能です。



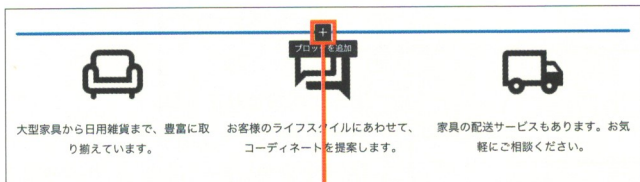
段落ブロックでテキストを入力し、[中央揃え] をクリックして設定しました。



同様のやり方ですべてのカラムに画像を追加し、テキストを入力します。

見出しと段落を追加する

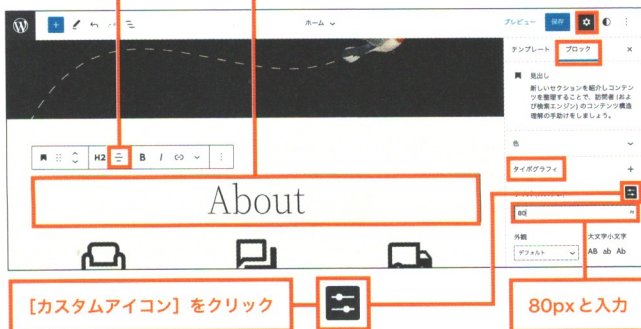
作成したカラムが何を表しているのかわかりやすいように、カラムブロックの上に見出しと段落を追加します。



「ブロックを追加」が現れるのでクリック

マウスを作ったカラムの上に持っていくと「ブロックを追加」が現れます。クリックして「見出し」を追加しましょう。

「About」と入力し、「テキスト中央揃え」をクリック



「カスタムアイコン」をクリック

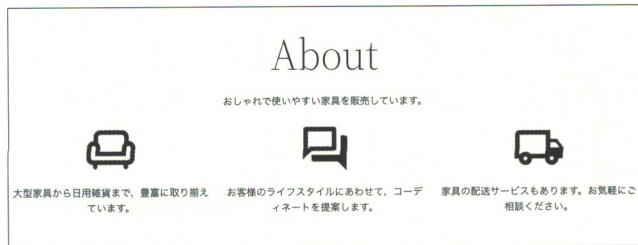
80pxと入力

「About」と入力した見出しは「中央揃え」にします。さらに「ブロック設定」から文字サイズを変更します。文字サイズは「設定」のタイポグラフィの項目で、サイズの右端にある「カスタムアイコン」をクリックすれば、任意の数値で指定できます。ここでは「80px」の大きさに設定しました。



段落を追加した

マウスを見出しの下に持っていく、同様のやり方で段落を追加し、「中央揃え」にします。



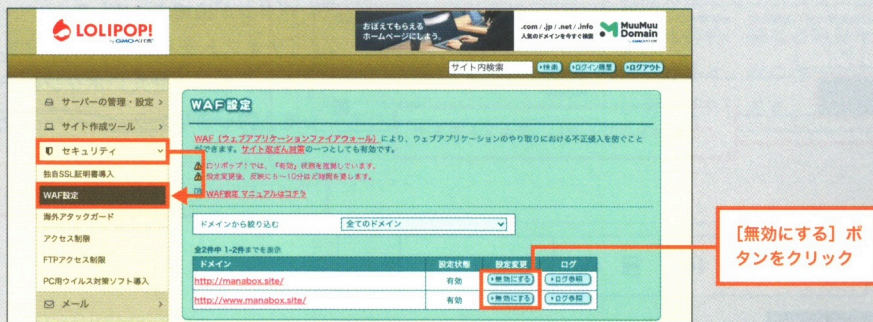
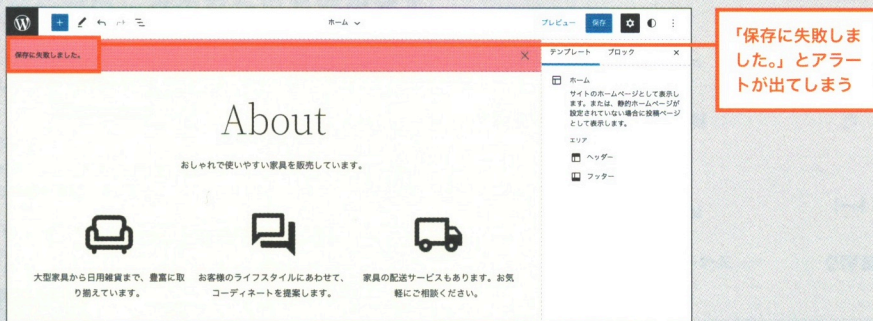
カラム部分の完成です！
Webサイトのホームページでよく見かけるスタイルに仕上がりました！

COLUMN

「保存に失敗しました。」と表示されたら

作業が終わって保存しようと思ったら、下の画像のように画面上部に「保存に失敗しました。」と表示されることがあります。これはサーバーのWAF設定を無効にすると防げます。WAFとは「ウェブアプリケーションファイアウォール」のことで、Webサイトのセキュリティ対策としてサーバー側で設定されています。

ロリポップレンタルサーバーを利用している場合は、ロリポップの管理画面から [セキュリティ] → [WAF設定] で、使用しているドメイン欄から [無効にする] ボタンをクリックしましょう。ただし、テーマの編集作業が終了したら、必ず有効に戻してセキュリティ効果を高めましょう。



3-6

CHAPTER

ホームの作成②

ボタンを設置しよう

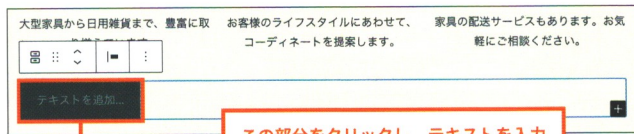
続けてボタンを設置していきます。全体の雰囲気に合わせて色や形などの装飾を加えるとよいでしょう。

■ ボタンブロックを挿入する

ボタンを利用すると、通常のリンクテキストよりも目立つため、ユーザーを目的のページに誘導しやすくなります。

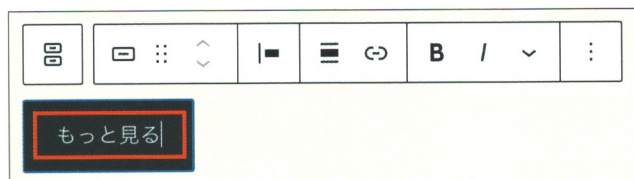


前節で作成したカラムブロックの下に新規 [ボタン] ブロックをクリックして挿入します。

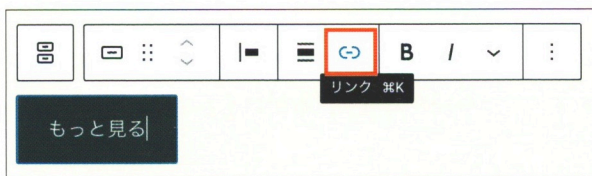


ボタンが追加されました。

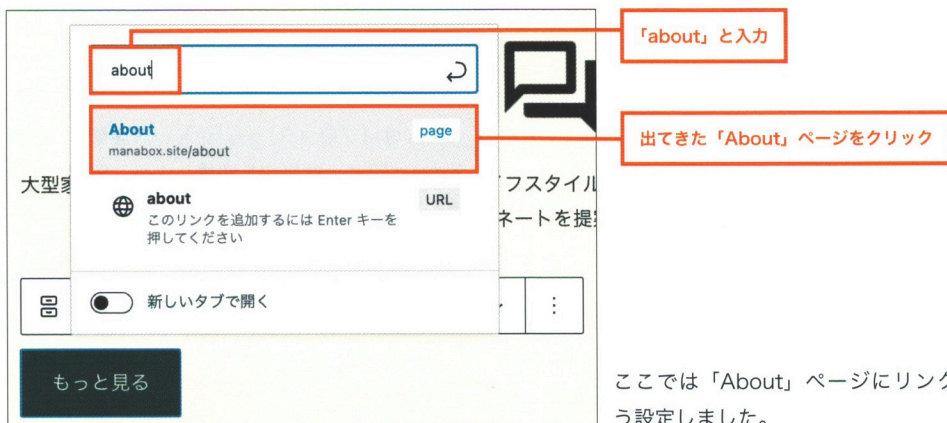
[テキストを追加...] の部分をクリックし、表示させたいボタンのテキストを入力しましょう。



ここでは「もっと見る」と入力しました。

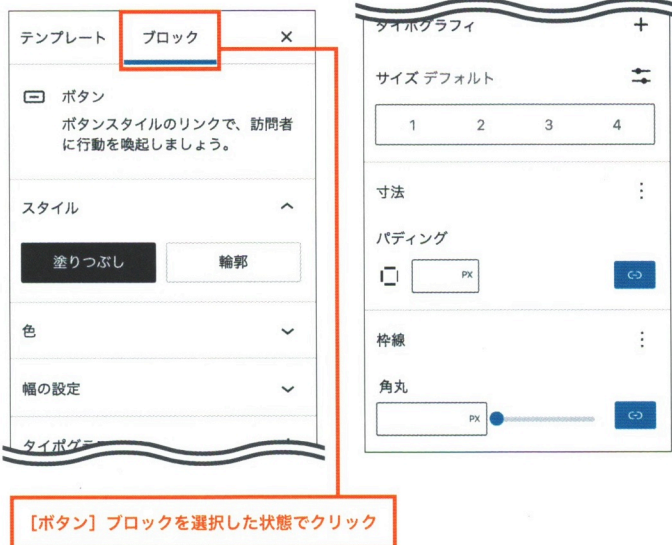


ブロックツールバーにある [リンク] アイコンをクリックしてリンク先のページを指定します。



ここでは「About」ページにリンクするよう設定しました。

■ ボタンブロックの見た目を変更する



画面右側の [ブロック] 設定からスタイルや色、幅などの見た目の変更ができます。次のページに簡単な使い方を紹介します。

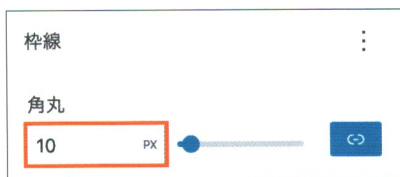
■ 色設定

ボタンの文字色や背景色が設定できます。ボタンは他の要素よりも認識しやすい色にするとよいでしょう。色は企業やブランドを象徴する色（ブランドカラー）を用いると印象に残りやすいです。



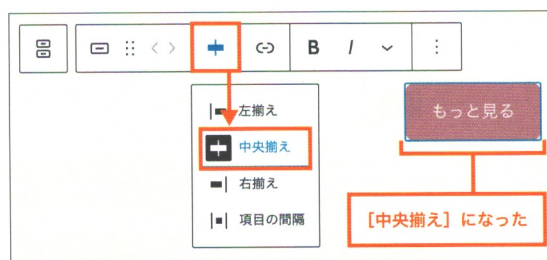
ここでは [ブロック] → [色] → [背景色] の項目から「3-4 背景色を変更しよう」P.138で作成したカスタムパレットの「Main」（ピンク）に設定しました。

■ 枠線設定



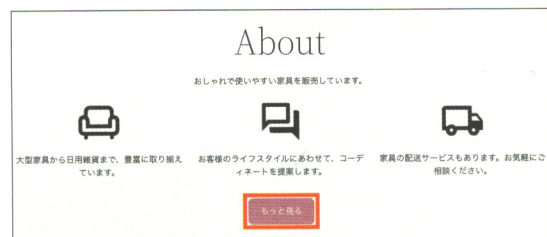
[枠線] の「角丸」の項目からボタンの四隅の角の丸みを指定できます。「0」だと四角形で、数値が大きくなればなるほど丸みを帯びた形になります。ここでは10pxに設定しました。

■ ボタンブロックを中央揃えにする



初期設定では左寄せになっているので、画面の中央に配置しましょう。

ブロックツールバーから [項目の揃え位置を変更] のアイコンから [中央揃え] をクリックします。



保存して確認しましょう。カラムブロックの下、画面の中央にボタンが配置されました。

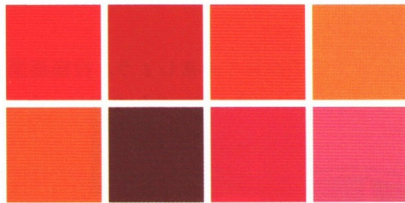
COLUMN

色の持つ印象とは

使う色を決めるときは、単に自分の好きな色だからと選んではいけません。WebデザインはWebサイトを利用するターゲットユーザーのものであり、デザインの目的に合わせて印象を作る必要があります。

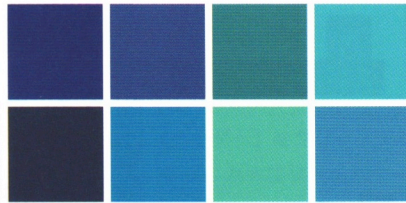
色は「暖かそう」や「冷たそう」といった見た目から伝わる温度で分類ができます。自分のWebサイトに訪れるユーザーの好みや目的に合わせて色を使いましょう。

暖色



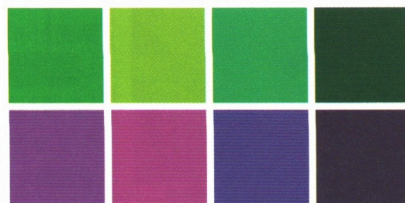
赤を中心とした色相。炎や血液を連想するため、気持ちを高揚させることができます。また、食欲が増す色合いです。

寒色



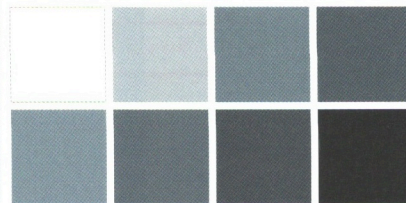
青を中心とした色相。海や水を連想し、精神を安定させ、涼やかな印象の色合いです。

中性色



緑や紫など、温度を感じない色相。暖色や寒色と組み合わせることで、温度感を付加できる場合があります。

無彩色



白、灰色、黒などの色味がない色相。どんな色と組み合わせても調和がとれ、スタイリッシュな印象の色合いです。

3-7

CHAPTER

ホームの作成③

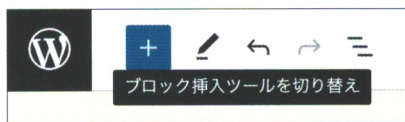
パターンを利用しよう

ブロックの使用には慣れてきましたでしょうか？ ブロックを組み合わせさせてレイアウトを考えるのは、楽しくもあり、時に時間がかかってしまいます。そこでパターンを利用して素敵なページを手軽に素早く作成しましょう。

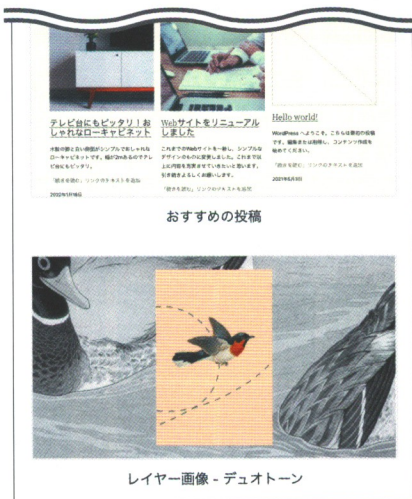
■ パターンとは

パターンとは、あらかじめ複数のブロックを組み合わせで美しくデザインされたすぐに利用できる機能です。すでに1つのレイアウトが完成されているので、パターンを記事内に挿入した後は画像や文字を変更するだけで済みます。

■ パターンを見てみよう



どんなパターンがあるのか見てみましょう。投稿画面の左上にある **+** アイコン、[ブロック挿入ツール] をクリックします。

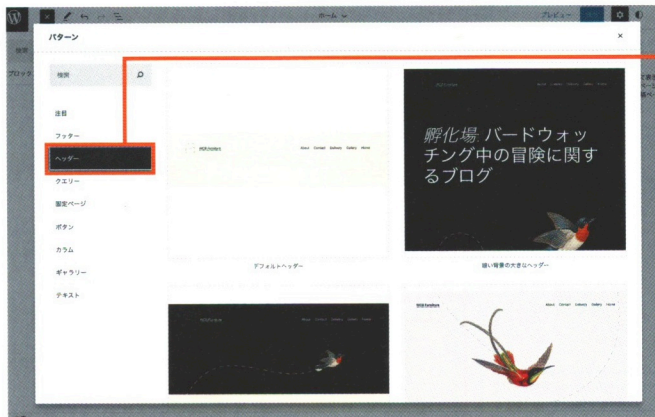


いつも利用している [ブロック] の右側にある [パターン] をクリックします。ここにいくつかのパターンが表示されています。画面が小さくて少し見づらいので、[参照] ボタンをクリックすると、全画面で大きく表示されます。



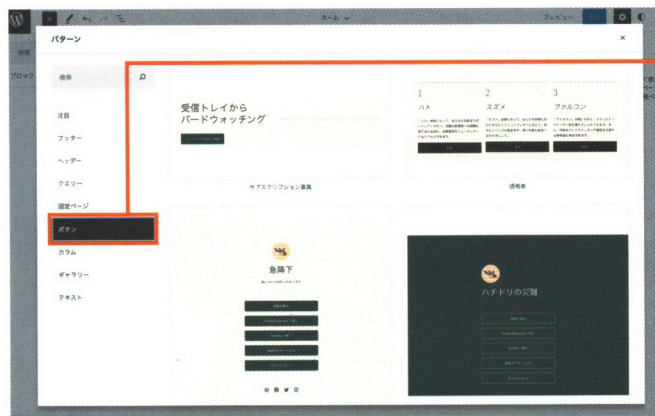
様々なパターンが用意されている

パターンが全画面で表示されました。初期状態は「注目」になっています。



クリック

「ヘッダー」をクリックすると「ヘッダー」カテゴリのパターンが表示されます。

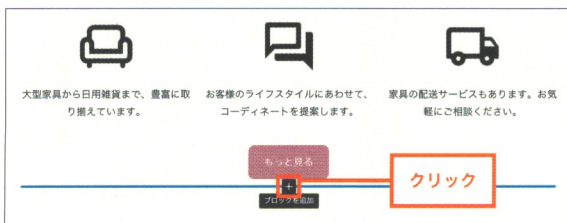


クリック

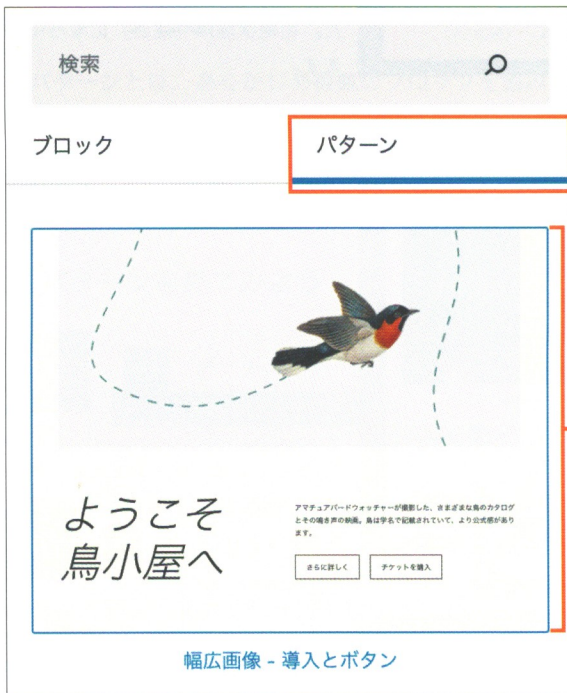
「ボタン」をクリックすると「ボタン」カテゴリのパターンが表示されます。

パターンはいくつかのカテゴリごとに整理されています。用途に合わせたパターンを探してみるとよいでしょう。

パターンを挿入する



それでは実際にパターンを使ってみましょう！前ページで作成したボタンカラムの下に新規ブロックを追加します。[ブロックを追加]をクリックします。



ブロックを追加の画面で [すべてを表示] をクリック、さらに [パターン] をクリック

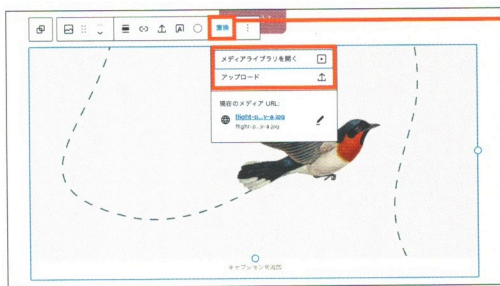
[幅広画像-導入とボタン] をクリック

[すべてを表示] をクリックし、「ブロック挿入ツール」を表示し、パターンを表示させます。ここでは「幅広画像-導入とボタン」を選択しました。



パターンが挿入されました！

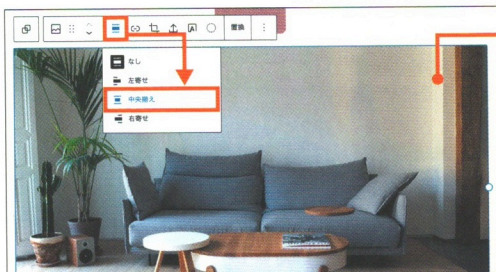
内容を変更する



[置換] をクリック

このパターンでは画像と見出し、テキスト、そしてボタンが用意されています。まずは画像から変更していきましょう。

パターンの画像を選択した後、[置換] をクリックし、メディアライブラリ、またはアップロードして画像を指定します。



サンプルデータの「livingroom.jpg」に置き換えた

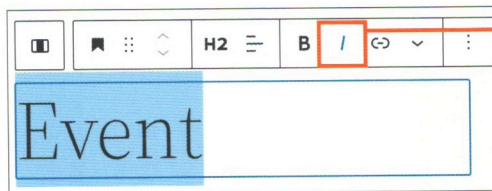
画像が変更されました。

元画像のサイズによっては画像が画面の左に寄ってしまうので、[配置を変更] アイコンから [中央揃え] にします。



続いて「ようこそ鶏小屋へ」と書かれた見出しを「Event」に書き換えます。

一旦、文字の外枠のカラムブロックを選択し、「垂直配置の変更」アイコンから上揃えにします。



クリックしてイタリックをオフ

また、「Event」の文字を選択し、[/] アイコンをクリックして斜体をオフにします。

新作家具の展示会を行います。新しい季節に向けて、お部屋に新しいアイテムを追加してみませんか？豪華な特典もありますよ！ぜひご参加ください。

チケットを購入

さらに文章を置き換え、2つあったボタンのうち、1つを削除します。

■ スタイルと色の設定をする

テンプレート **ブロック** ×

ボタン
ボタンスタイルのリンクで、訪問者に行動を喚起しましょう。

スタイル ^

塗りつぶし 輪郭

色 ^

テキスト

背景

「Main」に設定

残った1つのボタンを選択し、右側の[ブロック]をクリックします。
テキスト色は初期設定のままにするので変更せず、背景色はカスタムパレットの「Main」に設定します。

■ 角丸の設定をする

ボタンの装飾は「3-6 ホームの作成②ボタンを設置しよう」P.148と同様に、スタイルは「塗りつぶし」、角丸は10pxとしました。

枠線 ⋮

角丸

10 PX ↻



保存して確認しましょう。背景色とボタンのトーンもマッチし、他のコンテンツとも調和の取れたデザインになってきました。イベントの告知欄ができ上がりました！

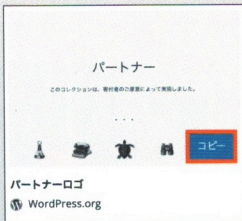
COLUMN

コピーで利用できるブロックパターン

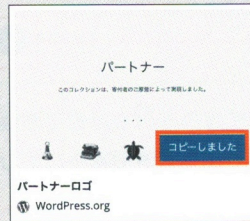
WordPressの公式サイトでは、他にも多くのブロックパターンが掲載されています。ギャラリーやボタンなど、カテゴリーごとにも分けられているので、好みのパターンを探してみるとよいでしょう。



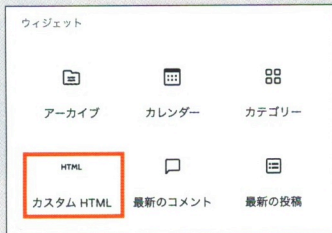
<https://ja.wordpress.org/patterns/>



① 利用したいパターンにカーソルを合わせると [コピー] ボタンが表示されます。

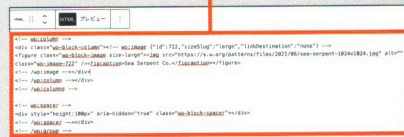


② クリックすると「コピーしました」と表示され、必要なコードがコピーされます。



③ 投稿やページ内のパターンを使いたい箇所で [カスタムHTML] ブロックをクリックし、挿入します。

コードを貼り付ける



④ コピーしたコードを貼り付けます。たったこれだけで好みのパターンを適用することができます。

3-8

CHAPTER

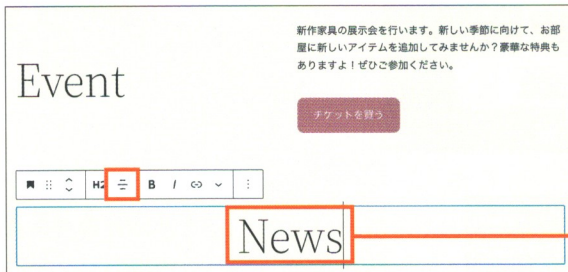
ホームの作成④

最新の投稿を表示しよう

今のWebサイトの状態だと投稿記事へのリンクがないのでアクセスすることができません。ホームに最新の投稿一覧を用意して記事を読んでもらえるように道筋を作りましょう。

■最新の投稿を挿入する

まずは前ページで作成したパターンの下に、最新の投稿用の見出しブロックを追加しておきましょう。



見出しブロックを追加し、80pxの中央揃えとする

見出しブロックを追加しフォントサイズを「3-5 ホームの作成①カラムを挿入しよう」P.142で作成した「About」と同様に、80pxに設定し、中央揃えにします。



テーマの項目

見出しの [ブロック挿入ツールを切り替え] をクリックして下にクエリーループブロックを挿入します。

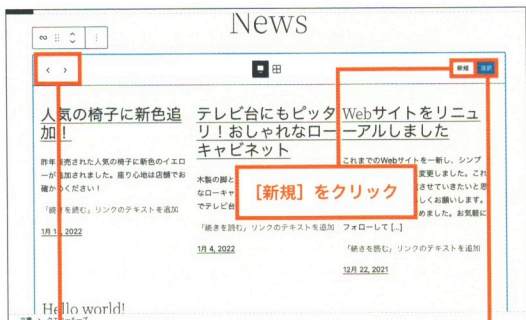
クリック



同様の機能を持つ「最新の投稿」ブロックというものもありますが、本書のこの節の紹介ではカスタマイズ性の高いクエリーループを利用しています。

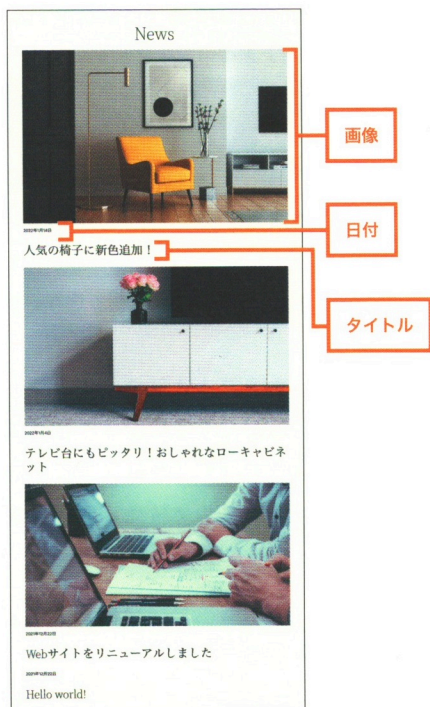
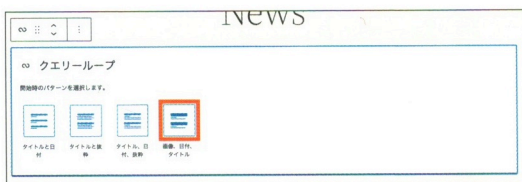
投稿一覧の表示方法を変更する

クエリーループブロックを挿入すると、これまでに公開した投稿の記事一覧が表示されます。ここからは一覧表示のスタイルを指定します。



左右で様々なパターンが表示

【新規】ボタンで選べる



画像

日付

タイトル

POINT

「クエリーループ」には公開した投稿記事しか表示されません。表示したい場合は投稿記事を公開に設定してください。

ブロックの左上にある左右の矢印をクリックすると、様々なパターンが表示されます。気に入ったレイアウトがあれば右上の「選択」ボタンをクリックしましょう。今回は既存のスタイルではなく、右上の「新規」リンクをクリックしてシンプルなスタイルで表示させます。

画面が変わるので、「画像、日付、タイトル」をクリックしましょう。

POINT

画像が表示されるのはアイキャッチ画像を設定している画像だけになります。

「画像、日付、タイトル」のセットで投稿一覧が縦に大きく表示されました。

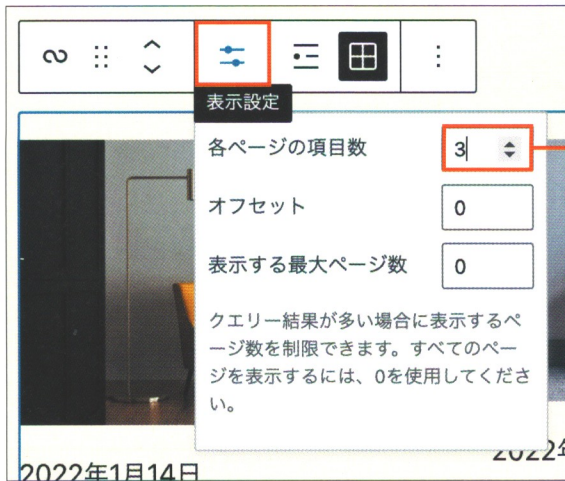
ただ、これでは大きすぎるので、横並びに3つのみ表示させるように変更していきます。



クエリーループブロックを選択し、
[グリッド表示] をクリックした

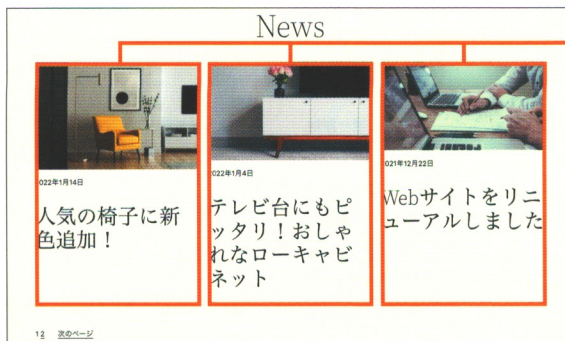
まずはクエリーループブロックを選択し、ブロックツールバーで [グリッド表示] アイコンをクリックします。
すると投稿がリスト表示から横並びのグリッド表示に変更されました。

表示する投稿数を変更する



3に変更

クエリーループブロックのブロックツールバーで [表示設定] アイコンをクリックし、「各ページの項目数」を「3」に変更します。

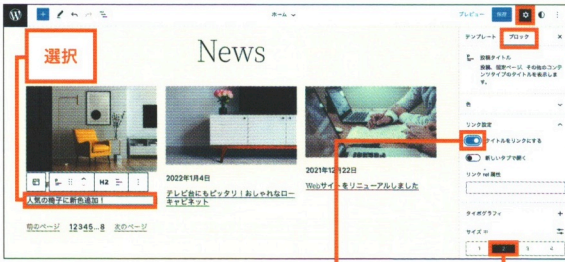


3つ横並びになった

これで投稿が3つずつ横並びで表示されました。

■ 文字サイズを変更する

投稿タイトルがやけに大きいのが気になるので、文字サイズを変更しましょう。



[タイトルをリンクにする] をチェックする

2 (中) に設定

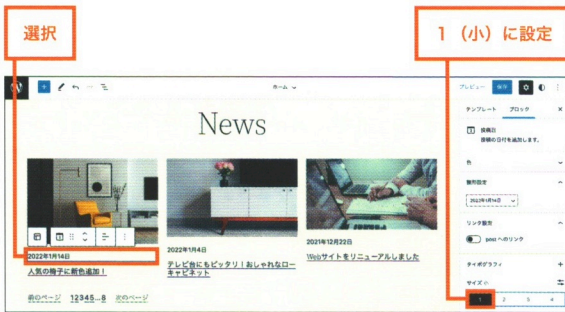
どれか1つの投稿タイトルを選択し、右側のブロック設定からサイズを [2 (中)] に変更します。これで3つの投稿のタイトルのサイズが変わります。

また、リンク設定では [タイトルをリンクにする] にチェックを入れます。

POINT

クエリーループブロックのよいところは、クエリーループ内にある投稿テンプレートを1つ変更すれば、クエリーループ内のすべての表示が反映されることです。

このままでは「日付」と「投稿タイトル」の文字サイズが同じなので差がわかりづらいです。どれか1つの日付を選択し、右側のブロック設定からサイズを [1 (小)] に変更します。



選択

1 (小) に設定



Before

After

すっきりと読みやすくなりました！

こういった細かな調整を行っていくとWebサイトが見栄え良くなるだけでなく、ユーザーにとっても使いやすいWebページに仕上がっていきます。本書ではWebデザインについてはあまり詳しく解説していませんが、WordPressを使いこなせるようになってきたら、別途書籍や参考サイトなどを参考にしてWebデザインを学んでいってもよいでしょう[※]。

※参考書籍：『1冊ですべて身につくHTML & CSSとWebデザイン入門講座』

参考サイト：Webクリエイターボックス <https://www.webcreatorbox.com/>

■ アイキャッチ画像のサイズを変更する

投稿にアイキャッチ画像が設定されている場合はアイキャッチ画像も一緒に表示できますが、アイキャッチ画像の元のサイズによって画像の高さが変わっています。場合によっては少しアンバランスとなってしまいます。アイキャッチ画像のサイズを変更していきましょう。



100%

240px

アイキャッチ画像を選択し、ブロック設定の「寸法」の項目でサイズを指定しましょう。高さは「240 px」、幅は「100 %」とします。

テンプレート ブロック ×

投稿のアイキャッチ画像
投稿のアイキャッチ画像を表示します。

リンク設定 ^

post へのリンク

寸法 +

高さ	幅
240 px	100 %

縮尺

余白なし 余白あり 拡張

画像はスペースを満たすよう、縦横比を変更せずに、拡大、縮小、トリミングされます。

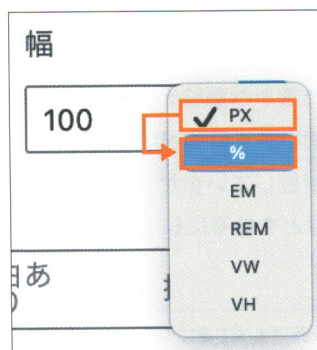
投稿タイトルと同様に、リンク設定で [post へのリンク] のスイッチをオンにしておきます。

なお、「post」とは各投稿記事のことで、チェックをオンにすることで個別投稿ページに移動できるようになります。

[postへのリンク] 欄にチェック

POINT

寸法の単位は通常「px」となっていますが、「px」と書かれた部分をクリックすると、別の単位に選択できます。本書では幅の単位を「px」から「%」に変更しました。



News



2022年1月14日

人気の椅子に新色追加！

2022年1月4日

テレビ台にもピッタリ！おしゃれなローキャビネット

2021年12月22日

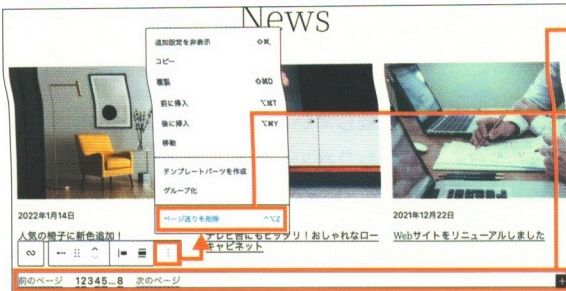
Webサイトをリニューアルしました

12 次のページ

高さが揃って統一感のあるデザインとなりました。

画像の高さが揃った

ページ送りを削除



【ページ送り】ブロックを選択

【ページ送りを削除】をクリック

投稿一覧の下にあるページ送りブロックは今回は不要なので、ページ送りブロックを選択し、オプションから削除しましょう。



タイトルや画像をクリックすると、各投稿記事に移動する

「News」エリアが完成しました！
タイトルや画像をクリックすると各投稿記事に移動します。

3-9

CHAPTER

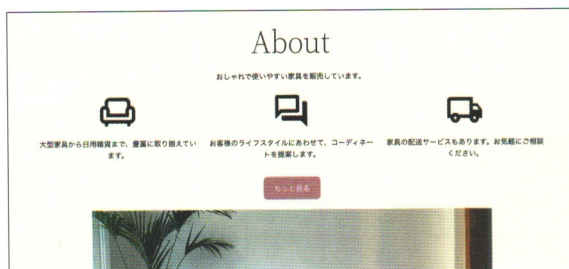
ホームの作成⑤

スペーサーで余白を加えよう

余白を適した場所に加えることで、関連する項目とそうでないものを視覚的にまとめられます。

■ スペーサーブロックで余白を加える

余白とは要素と要素の間にできるスペースのことです。関連する項目には余白を小さめにし、関連しない項目には余白を大きめに使って見やすいレイアウトを作成しましょう。余白を加えるために**スペーサー**というブロックを利用します。



今回作成しているホームページではAbout項目のまわりが少し詰まったような印象になっています。

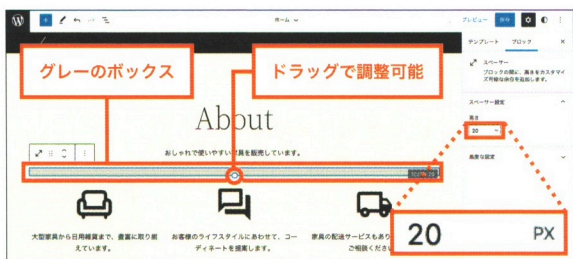
以下の3箇所①にスペーサーブロックを挿入してゆとりのあるデザインに仕上げます。

- ① カラムの上
- ② カラムの下
- ③ ボタンの下



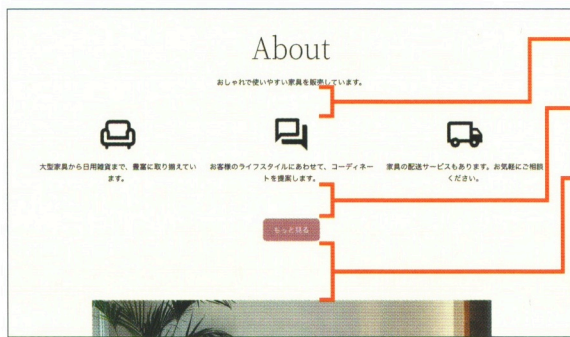
まずは余白を加えたい箇所にカーソルを合わせ「スペーサー」ブロックを挿入します。





薄いグレーのボックスが表示され、余白が追加されました。このグレーはスペーサーブロックを選択している時のみに表示されるもので、実際には透明になります。余白の大きさはグレーのボックスを上下にドラッグするか、画面右側のブロック設定で調節できます。コラムの上の余白は「20」に設定しました。

同じ要領で全部で3箇所、必要な余白サイズを指定してスペーサーブロックを挿入しましょう。余白をとりすぎると間延びした印象になってしまうのでプレビューを見ながら調整します。



- ①コラムの上 (20px)
- ②コラムの下 (20px)
- ③ボタンの下 (100px)

余白が追加され、窮屈な印象がなくなりました。これでホームのコンテンツ部分が完成です！

COLUMN

余白を使ってグループ化する

人間は複数のものが近くに設置されていると、それらが「関連している」と認識します。レイアウトを考える上では、関連しない情報を近づけないということがとても大切になってきます。画像とテキストを使って考えてみましょう。



✗ 「トレニア」「ばら」は上下どちらの花の名前なのだろうか？



○ テキストと下の画像の間に余白を作り、グループをわかりやすくした

3-10

CHAPTER

テンプレートとテンプレートパーツ

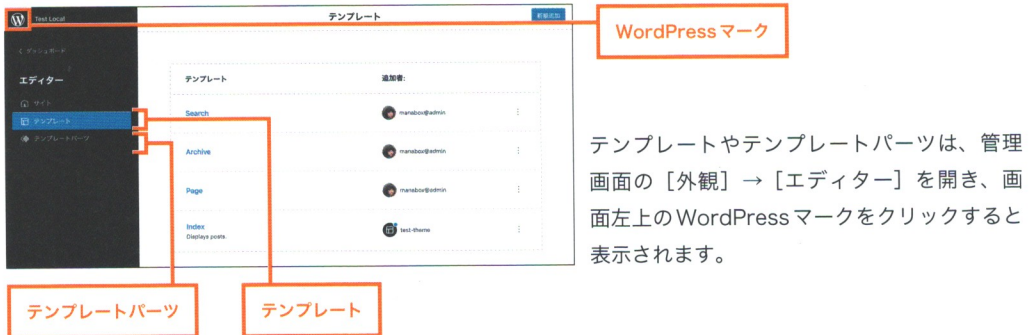
ホームのコンテンツの次は、ナビゲーションメニューやフッターなど、各ページの共通部分を作成していきます。

■ ブロックテーマの枠組み

ホーム、サイドバー、フッターなど、こういったブロックテーマの枠組みはテンプレートとテンプレートパーツを組み合わせて構成されます。それぞれの特徴と具体例をみていきましょう。

■ テンプレートとは

テンプレートとは、ページを作成する上で雛形となるデータのことです。表示したいページの種類ごとに、レイアウトや内容が異なる時は**テンプレート**を作成して切り替えるとよいでしょう。



テンプレートやテンプレートパーツは、管理画面の [外観] → [エディター] を開き、画面左上のWordPressマークをクリックすると表示されます。

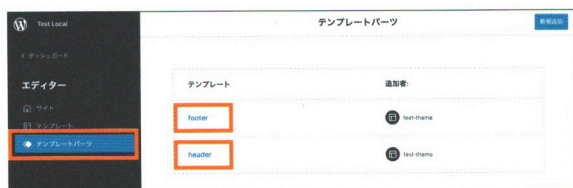
一般的には以下のようなテンプレートを作成して見せ方を変えることが多いです。

- ホーム
- 固定ページ
- 個別投稿記事
- 投稿記事一覧
- 検索結果

テンプレートでは表示内容を細かく作成するというよりは、後述のテンプレートパーツをどこに配置するかといったレイアウトの指定をしていきます。

■ テンプレートパーツとは

テンプレートパーツはWebサイト内で繰り返し利用したい共通部分のことです。ブロックを組み合わせて内容を作成していきます。

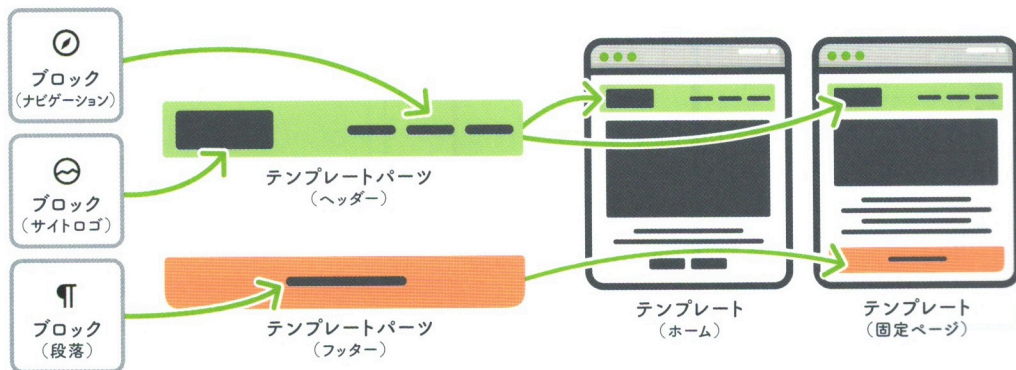


Webページ上部のヘッダーや、下部のフッター、サイドバーなどをテンプレートパーツとして用意しておく、必要なテンプレートに挿入するだけで雛形ができあがります。

■ テンプレートパーツの組み合わせ

すべてのWebページで同じパーツを利用することもあります、時にはページごとに必要なパーツが異なる場合もあります。その場合はテンプレートごとに1から必要な内容を作成するのは手間がかかります。あらかじめテンプレートパーツとして部品を用意しておいて、テンプレートを作成する時に必要な箇所に配置することで制作時間を短縮し管理を楽にできます。

テンプレート	必要なテンプレートパーツ
ホーム	ヘッダー
固定ページ	ヘッダー、フッター
個別投稿記事	ヘッダー、フッター、サイドバー
投稿記事一覧	ヘッダー、フッター、サイドバー



ブロックを組み合わせてテンプレートパーツを作り、テンプレートパーツを組み合わせてテンプレートを作成します。

3-11

CHAPTER

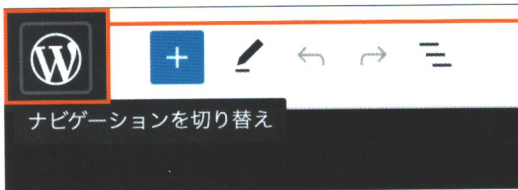
ヘッダー部分の作成①

ヘッダーパーツを用意しよう

ヘッダーにはどのページにもロゴとナビゲーションメニューを含ませます。そしてホームのみ画像を大きくし、キャッチコピーも表示させます。

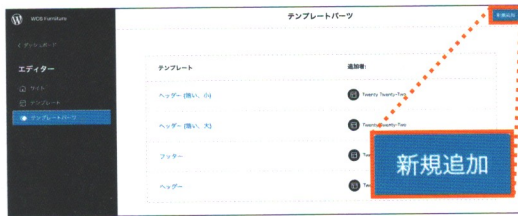
■ テンプレートパーツを新規作成する

まずはホームページのヘッダーを作成していきます。



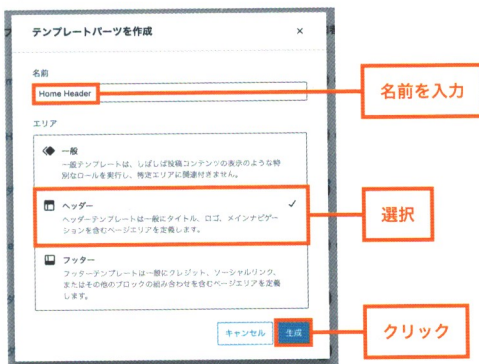
クリック

管理画面で [外観] → [エディター] でエディターを開いた後、画面左上にある [ナビゲーションを切り替え (WordPressアイコン)] をクリックします。

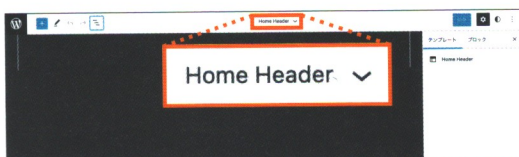


左側の [テンプレートパーツ] メニューをクリックしましょう。すると「Twenty Twenty-Two」テーマ側で最初から用意されているテンプレートパーツがいくつか表示されています。

今回は新たにテンプレートパーツを作成するので、右上の [新規追加] ボタンをクリックします。

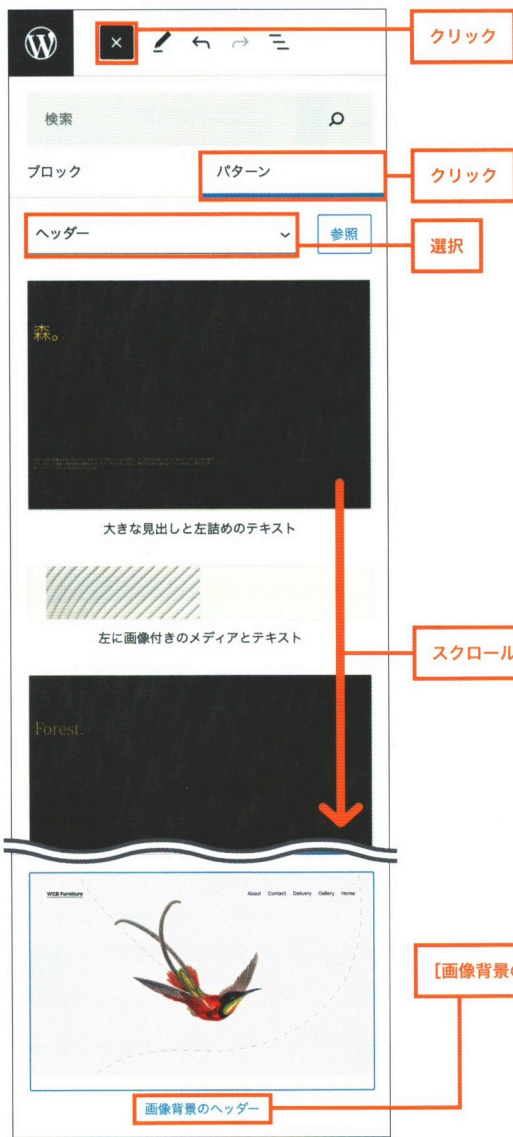


名前を「Home Header」、エリアを「ヘッダー」にして、右下の [生成] ボタンをクリックします。



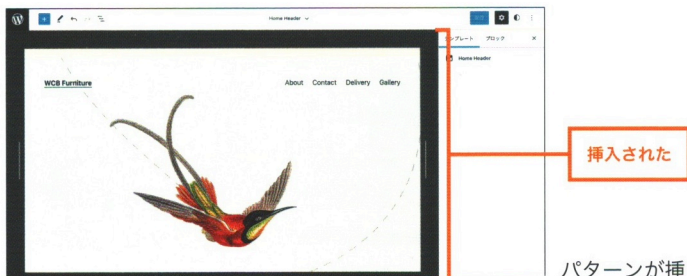
内容がまだ何も入っていないエディターが表示されました。しかし画面中央上部が「Home Header」になっています。「Home Header」のテンプレートパーツの作成画面だということがわかります。

■ パターンを使ってヘッダーを作成する



1から作成していくこともできますが、ここでは「ホームの作成③パターンを利用しよう」P.152で紹介したパターンを使って楽をしましょう！左上の[ブロック挿入ツールを切り替え]を選択、[パターン]をクリックし、カテゴリー「ヘッダー」を選びます。

大きな背景画像を利用したいので、スクロールして希望に合ったパターンを探します。「画像背景のヘッダー」を選択します。

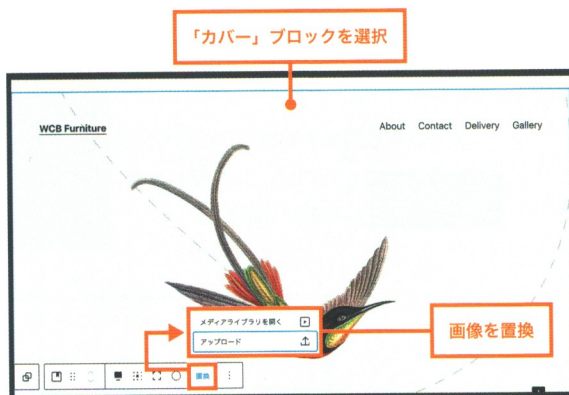


パターンが挿入されました。

背景画像を変更する



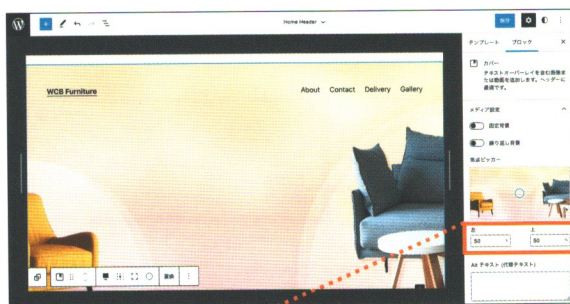
左上の「リスト表示」をクリックしてリスト表示にすると、このパターンでは「カバー」ブロックを使って背景画像を設置しているのがわかります。



POINT

リスト表示にするとパターンの構造がわかりやすく、選択しやすくなります。

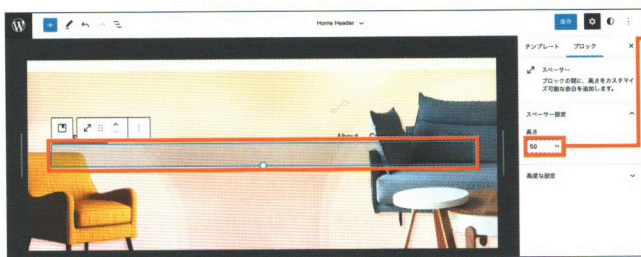
背景画像を変更するにはカバーブロックを選択し、ブロックツールバーの「置換」でメディアライブラリから、またはアップロードして画像を指定します。



POINT

設定画面が出ていないときは右上の「設定」(歯車アイコン)をクリックして表示させてください。

■ キャッチコピーを挿入する



50px に設定

このパターンには高さ500pxのスペーサーブロックが含まれています。このままではキャッチコピーを入れる隙間がないので、このスペーサーブロックを50pxに変更しましょう。



テキスト中央寄せ

見出しブロックを挿入

70px

スペーサーブロックの下に見出しブロックを挿入します。さらに中央揃えにし、文字サイズをカスタムで70pxにします。

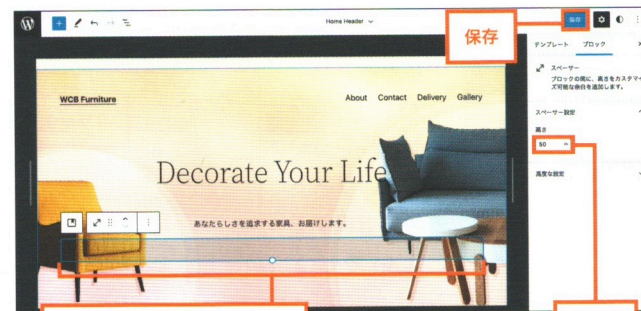
挿入の仕方や、揃え、文字サイズの調整はこれまでの説明を参考にしてください。



テキスト中央寄せ

「段落」ブロックを挿入

さらに見出しブロックの下に、段落ブロックで文章を挿入します。こちらも中央揃えにしましょう。



「スペーサー」ブロックを挿入

50px

バランスを整えるために、段落ブロックの下に50pxのスペーサーブロックを挿入します。スペーサーの設定は50pxとしています。

これでヘッダーのコンテンツ部分は完成です！ 右上の【保存】ボタンから保存しておきましょう。

※もし保存に失敗する時はサーバーの設定が影響していることがあります。P.147のCOLUMNを参照してください。

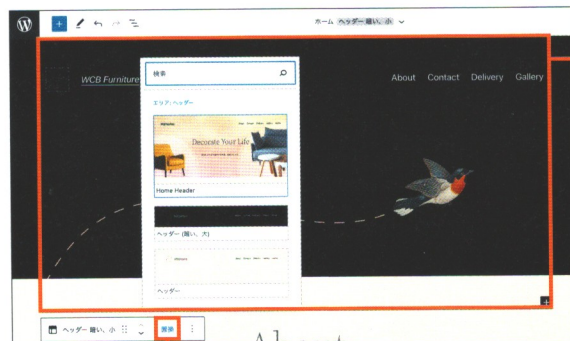
■ テンプレートパーツをホームに反映させる



保存してWebサイトを確認してみても、ヘッダー部分は変化がありません。これは、まだホームのテンプレートで、作成した「Home Header」パーツを利用するよう指定していないからです。



画面左上にある [ナビゲーションを切り替え (WordPress アイコン)] をクリックし、[テンプレート] メニューから [ホーム] をクリックします。

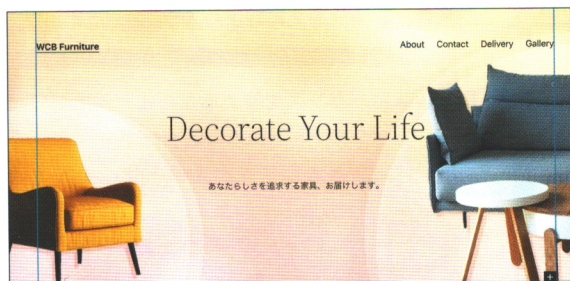


「ヘッダー 暗い、小」を選択 (クリックしづらい時は下のPOINT参照)

テンプレートパーツである「ヘッダー 暗い、小」を選択し、ブロックツールバーで [置換] をクリックします。

先ほど作成した「Home Header」パーツが表示されているので、クリックして選択します。

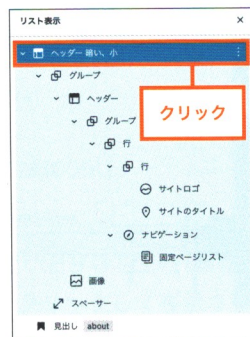
[置換] をクリックし、先ほど作成した「Home Header」を選択



ヘッダーパーツが変更されました！

POINT

「ヘッダー 暗い、小」テンプレートパーツがクリックしづらい場合は、リスト表示で選択するとよいでしょう。





作成したヘッダーが反映されている

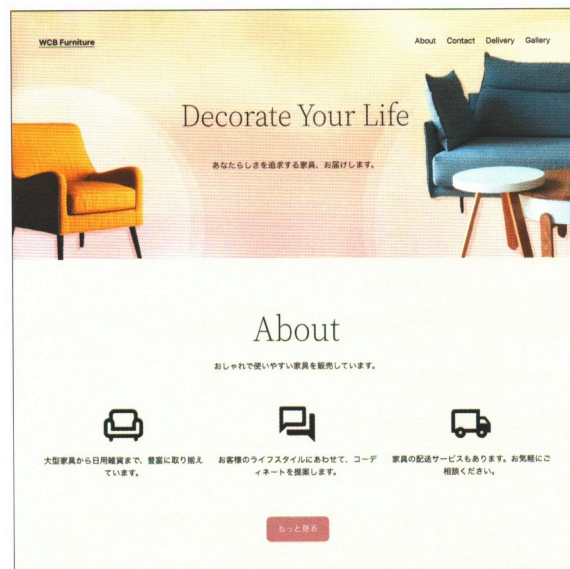
Webサイトを確認しましょう。作成したヘッダーが反映されています！



「スペーサー」ブロックを追加

60px

ただ、すぐ下にある見出し「About」との距離が近いので、60pxほどのスペーサーブロックを入れて余裕をもたせましょう。



ページ上部の印象が大きく変わりました。

3-12

CHAPTER

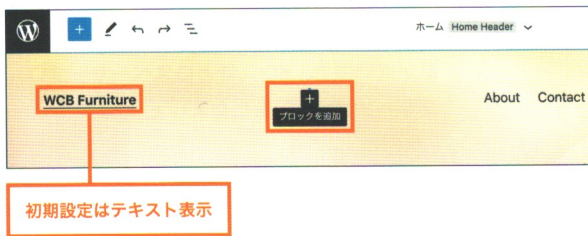
ヘッダー部分の作成②

ロゴとサイトアイコンを設定しよう

ヘッダー部分にロゴ画像を表示したい場合も、テンプレートパーツで設定することが可能です。

■ サイトロゴブロックを追加する

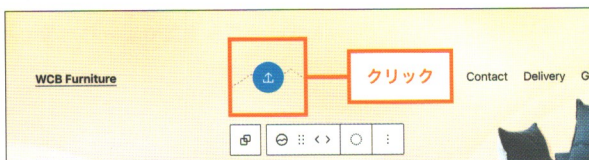
初期設定では、Webサイトの上部にWebサイトのタイトルをテキストとして表示しています。この場所にロゴ画像を表示したい場合も、テンプレートパーツから設定することができます。1つひとつ見ていきましょう。



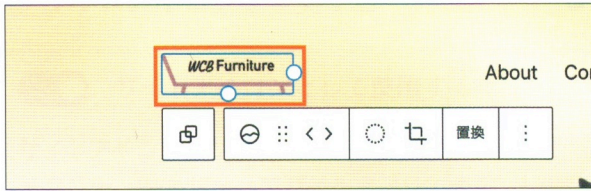
現在表示されているサイトのタイトルブロックの右横並びに、新規ブロックを追加します。



「テーマ」の項目にある [サイトロゴ] ブロックを選択しましょう。



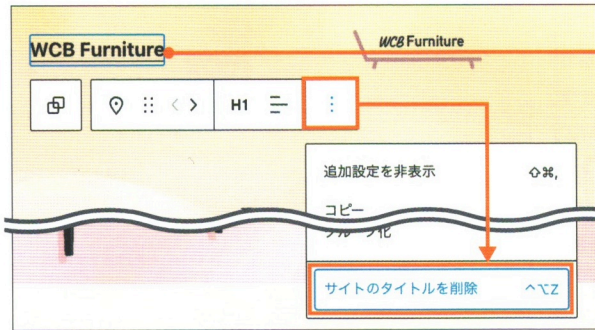
サイトロゴブロックが挿入されました。上向きの矢印アイコンをクリックして、メディアライブラリから、または画像をアップロードしてロゴの画像を選択します。



ロゴ画像が表示されました！本書ではサンプルデータの「logo.png」のロゴ画像を入れています。

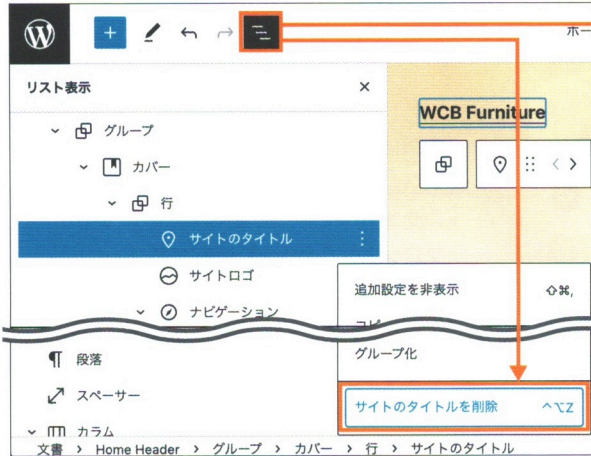
現時点ではロゴの表示位置がおかしいのですが、後述するサイトのタイトルを削除すれば左端に寄るのでご安心ください。

■ サイトのタイトルを削除する



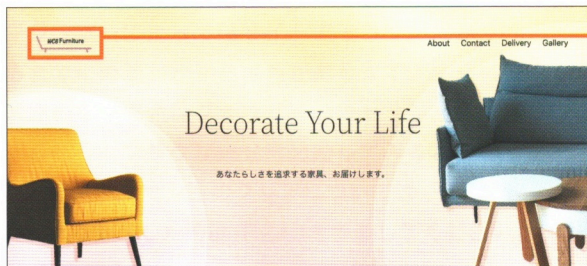
ブロックを選択

最初から表示されていたサイトのタイトルブロックは不要なので、ブロックを選択後、ブロックツールバーのオプションから削除しましょう。



[リスト表示] をクリック

ブロックの選択が難しい場合は、「リスト表示」にしてから右端のオプションアイコンから削除すると簡単です。



ロゴ画像に変更された

テキストで表示されていたサイトのタイトルが、ロゴ画像に変更されました。

■ サイトロゴの表示設定を変更する

テンプレート **ブロック** ×

スタイル ^

デフォルト **角丸** 角丸にする

設定 ^

画像の幅

120 幅の設定

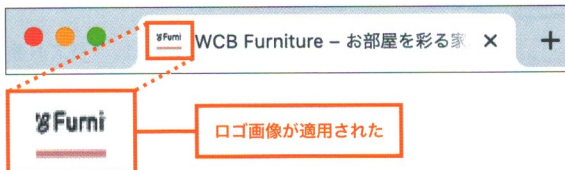
ホームへのリンク画像 ホームヘリンク

新しいタブで開く クリックした際に新規タブで開く

サイトアイコンとして使用する サイトアイコンとして使用できる (下記参照)

サイトアイコンはブラウザのタブ、ブックマークバー、WordPressモバイルアプリで表示されます。サイトロゴと異なるカスタムアイコンを使用するには、[サイトアイコン設定](#)を使用してください。

今回はアップロードした画像をそのままサイトロゴとして使用しましたが、画像のスタイルやサイズを変更したい場合は、画面右側のブロック設定から変更可能です。



[サイトアイコンとして使用する] をオンにしておくと、エディター画面の左上にあったWordPressアイコンや、ブラウザのタブ部分に、設定したロゴ画像が適用されます。

■ サイトアイコンを変更する

サイトアイコンとして使用する

サイトアイコンはブラウザのタブ、ブックマークバー、WordPressモバイルアプリで表示されます。サイトロゴと異なるカスタムアイコンを使用するには、**サイトアイコン設定**を使用してください。

クリック

ブラウザのタブ部分などに表示されるサイトアイコンは、基本的に正方形が推奨されています。サイトロゴと異なる画像にしたい場合は、左ページで解説した「サイトアイコンとして使用する」の下にある「サイトアイコン設定」のリンクをクリックしましょう。



「サイトアイコン」項目の「サイトアイコンを選択」（すでに画像が入っている時は「画像を変更」となっている）ボタンから画像をアップロードできます。なお、サイトアイコンは512px x 512px以上のサイズの正方形が推奨されています。本書では作り方の解説をしておりませんが、別途グラフィックソフトなどで作成するとよいでしょう。なお、サイトアイコンは小さく表示されるため、あまり複雑な図形にするとなんのアイコンなのかわかりにくくなってしまいます。なるべく簡略化し、他のWebサイトと差別化できるように工夫しましょう。変更したらパネル上部に表示される「公開」ボタンをクリックしましょう。



サイトアイコンが変更された

サイトアイコンが変更されました！

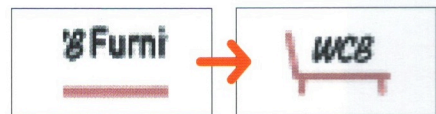
POINT

ブラウザによってはサイトアイコンが反映されるまでに時間がかかる場合があります。すぐに反映されない場合はブラウザのキャッシュをクリアしたり、ブラウザを再起動してみるとよいでしょう。キャッシュのクリアについては「5-5 トラブルが発生した時は」P.230を参照してください。

POINT

サイトアイコンを当てはめたら「削除」「画像を変更」ボタンから変更することができます。

POINT



• Before

横長のロゴが配置されているためわかりづらい。

• After

サイトアイコン用に簡略化したため見やすい。

3-13

CHAPTER

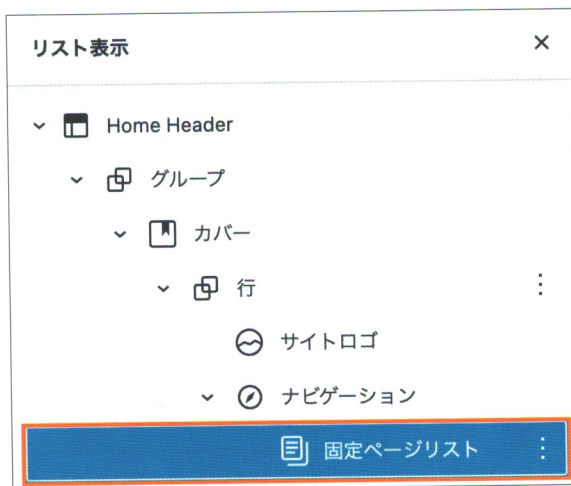
ヘッダー部分の作成③

ナビゲーションメニューを作成する

ユーザーに目的の場所を伝えるナビゲーションメニューは各ページへの入り口です。Webサイトの目立つところに表示されるのでユーザーを目的のページにスムーズに案内できるように設定しましょう。

■ ナビゲーションメニューの順序を入れ替える

ページの右上にあるナビゲーションは、「固定ページが作成された順」に表示されています。より使いやすくするよう、「ユーザーに見てもらいたい順」に並べ替えましょう。



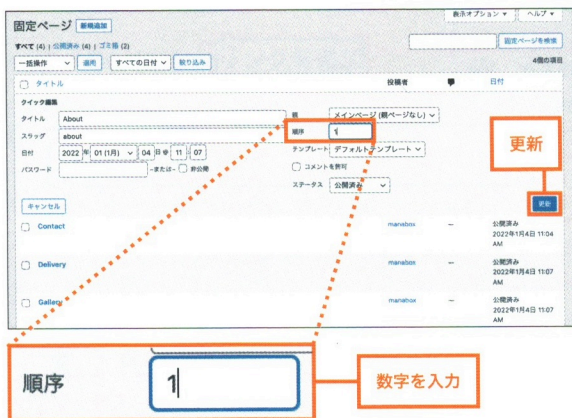
ナビゲーションをリスト表示で見ると、メニューは1つひとつの独立したリンクテキストではなく、「固定ページリスト」としてまとめられています。順序の変更方法は2通りあるので、順に見ていきましょう。

■ 固定ページ一覧から順序を変更する方法



[クイック編集] をクリック

1つめは管理画面の [固定ページ] → [固定ページ一覧] から変更する方法です。ページのタイトルにカーソルを合わせて [クイック編集] をクリックします。



「順序」という項目があるので、並べたい順序の数字を入力し、[更新] ボタンをクリックします。これを各ページ分行います。

POINT

「順序」は数が少ないものが一番左に配置されます。数が増えるほど右に配置されます。



順番が変更されました。

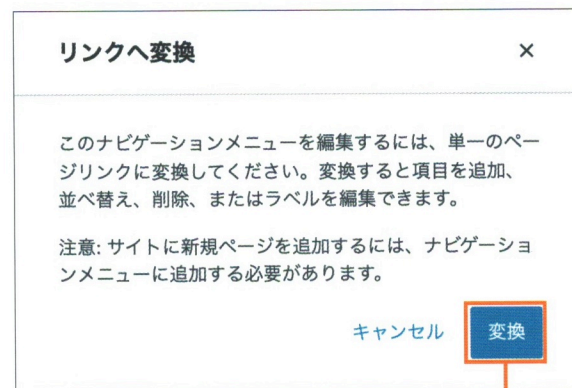
ただしこの方法では各ページに数字を入力する必要がありますし、頻繁に順序を入れ替えたり、間に固定ページ以外のメニューを追加することはできません。そこで次の項目でもう1つの方法を紹介합니다。

個別のブロックへ変換する方法



「固定ページリスト」を選択

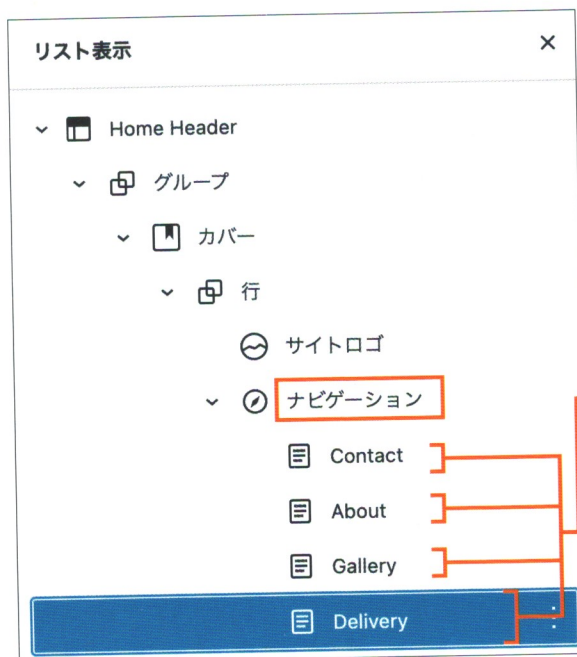
[外観] → [エディター] でヘッダーパーツを表示し、[固定ページリスト] ブロックを選択します。そしてブロックツールバーの [編集] をクリックします。



リンクへ変換する説明パネルが表示されます。[変換] ボタンをクリックして変換しましょう。

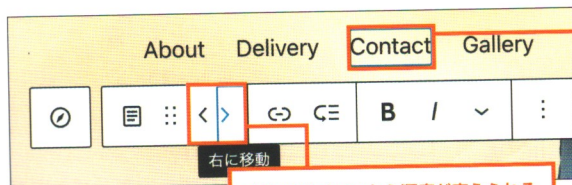
POINT

「リンクへ変換」の文章は、「これまでは固定ページが追加されれば自動的にこのナビゲーションメニューに追加されていましたが、ここで1つひとつのリンクとして独立させるなら、固定ページを追加した際はナビゲーションメニューに個別に追加してください」という内容になります。



1つひとつのリンクが選択できるようになった

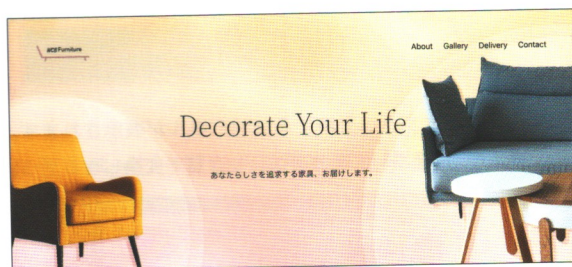
ナビゲーションをリスト表示で見ると、1つひとつのリンクが選択できるようになりました。P.178のリスト表示と比較すると違いがわかりやすいです。



選択

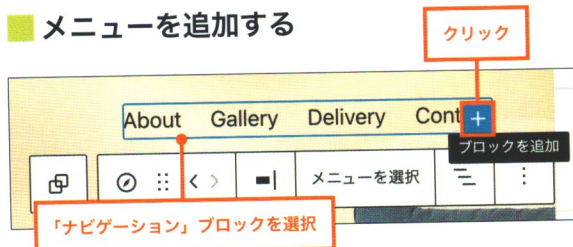
順序を変更したいリンクを選択し、ブロックツールバーの左右のアイコンをクリックすると順序が入れ替わります。

左右のアイコンから順序が変えられる



これでホームのヘッダーは完成です！
2つ目に紹介した方法の方が、前述した固定ページ一覧から順序を変更する方法よりも手軽に操作することができます。

■メニューを追加する

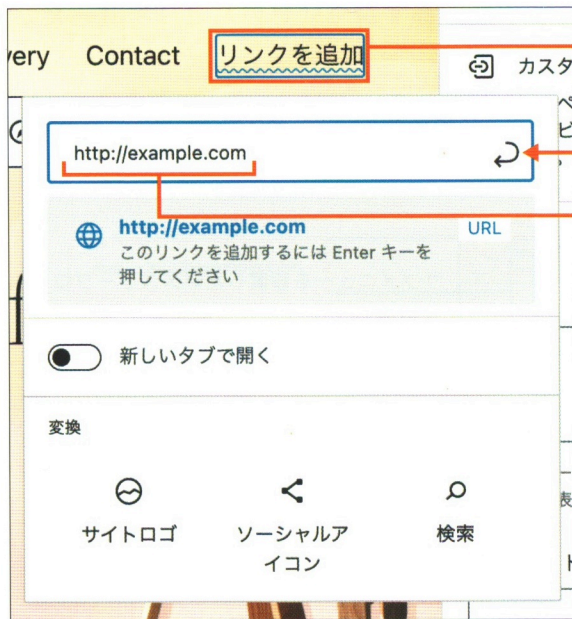


クリック

固定ページ以外にも、投稿やカテゴリー、外部サイトなどをナビゲーションメニューとして表示できます。

「ナビゲーション」ブロックを選択すると、右下に+アイコンが表示されます。ここからブロックを追加できます。

「ナビゲーション」ブロックを選択

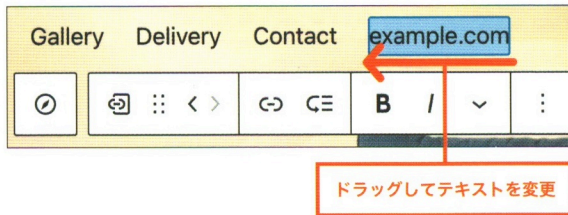


[ブロックを追加] をクリックすると出てくる

「検索または URL を入力」はこの部分

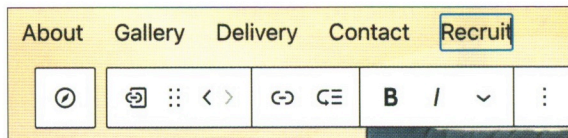
外部サイトの URL を入力した (例)

「検索または URL を入力」から、任意の URL を入力して外部サイトへのリンクを設置したり、すでに作成している投稿やカテゴリ名を入力して検索することもできます。ここでは外部サイトへの URL を入力し、**Enter** キーを押して確定します。



ドラッグしてテキストを変更

外部サイトへのリンクが追加されました。ただ、このままでは URL が表示されているだけなのでサイトかわかりづらいですね。そこで URL 部分をドラッグして選択し、テキストを変更します。



リンク先はそのまま、表示名が変更されました。

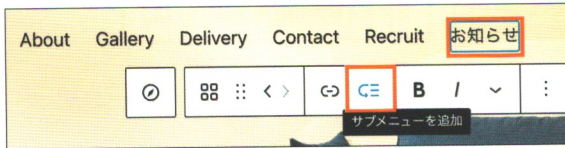
POINT

ナビゲーションメニューに表示させる外部サイトの例として、最も多いのは SNS サイトへのリンクでしょう。Twitter や Instagram など、運営している SNS サイトのリンクをわかりやすい位置に表示させてファンを増やしましょう！

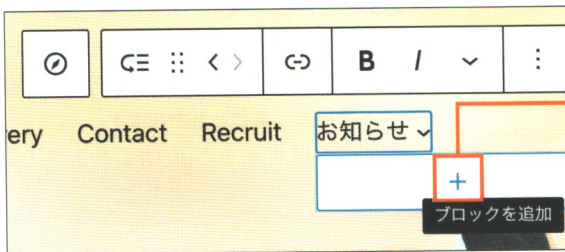
■ サブメニューを作成する

「Twenty Twenty-Two」 テーマはサブメニューに対応しています。

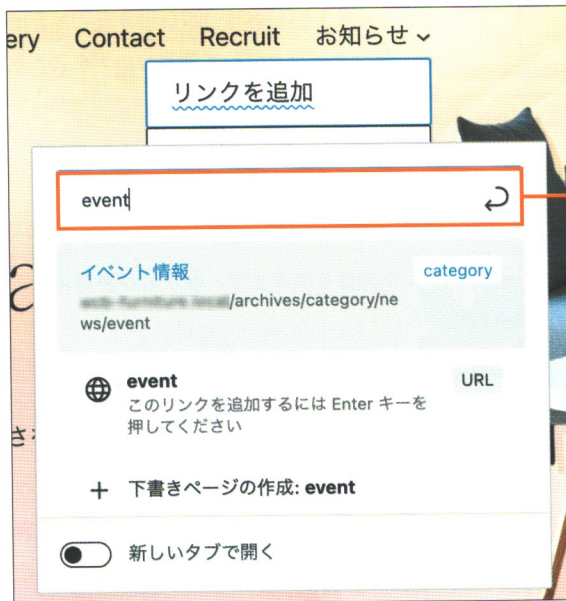
サブメニューとはメインメニュー名にカーソルを合わせると、メニューの下に表示されるもので、ページ数の多いWebサイトではよく利用されています。



サブメニューを設置したいメニューブロックを選択し、ブロックツールバーで [サブメニューを追加] をクリックします。



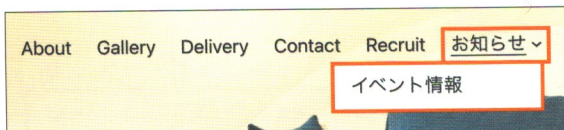
メニュー名の下に[+]アイコンのついた四角形が表示されるので、クリックして追加します。



POINT

サブメニューはテーマによっては用意されていない場合があります。

これまでと同様に、URLを入力するか、既存のページを検索して確定しましょう。



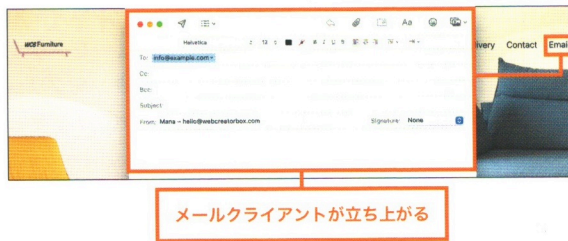
Webサイトを見てみると、サブメニューのある項目の右端に下矢印アイコンが追加され、カーソルを合わせるとサブメニューが表示されるようになりました。

■ メールアドレスをリンクにする場合の書き方



「mailto:」から始めメールアドレスを入力

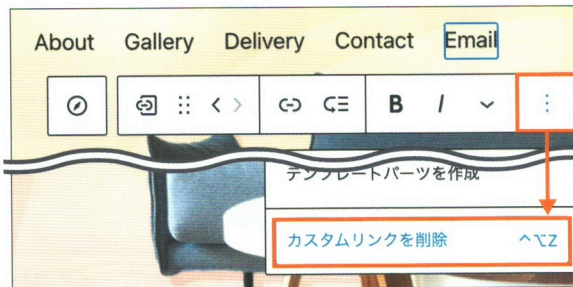
メールアドレスをリンクとして表示することも可能です。
 ただし、メールアドレスを入力しただけではリンクとして認識されません。URLの入力欄に必ず「mailto:」から書き始め、続けてメールアドレスを書きます。
 「mailto:info@example.com」という形です。途中でスペースを入れても認識されません。書き方には注意しましょう。



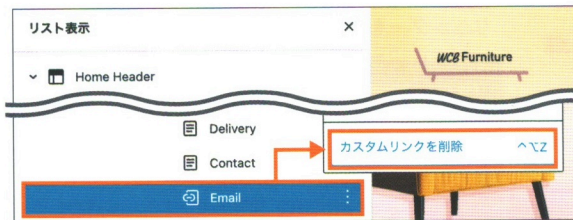
メールクライアントが立ち上がる

設置したメールアドレスへのリンクをクリックすると、ユーザーが設定しているメールクライアントが表示され、すぐにメールを送信できるようになります。

■ メニューを削除する



作成したメニューを削除する方法は、ブロックを削除する方法と変わりありません。削除したいメニューブロックを選択し、ブロックツールバーの右端にあるオプションから削除可能です。



リスト表示からでも、右端のオプションから削除できます。

POINT

もし編集したテンプレートを元の状態に戻したい場合はP.198のCOLUMNを参照に作業してください。

3-14

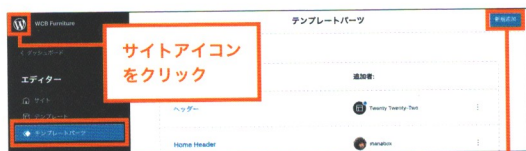
CHAPTER

投稿や固定ページのヘッダーを作ろう

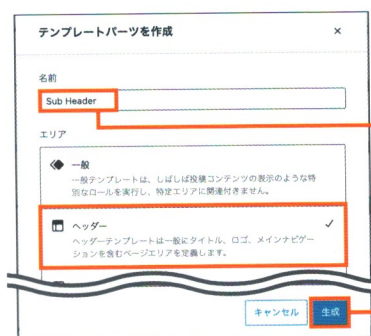
前ページまででホームページ用のヘッダーは完成しましたが、ホーム以外のページのヘッダー部分は初期状態のままです。Webサイトのデザインに合わせて、他のページ用のヘッダーも作成しておきましょう。

■ テンプレートパーツを新規作成

「3-11 ヘッダー部分の作成①ヘッダーパーツを用意しよう」P.168と同じ手順で進めます。



[外観] → [エディター] でエディターを開いた後、画面左上のサイトアイコンからナビゲーションを切り替え、[テンプレートパーツ] メニューをクリックします。そして右上の[新規追加] ボタンをクリックしましょう。



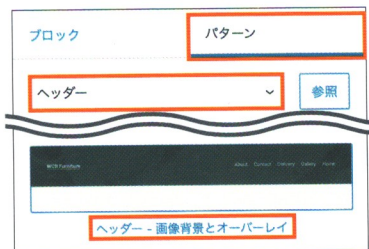
新規追加

「Sub Header」と入力

生成をクリック

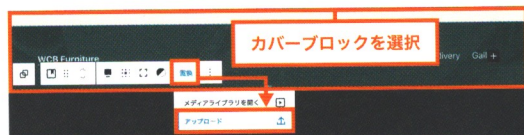
名前を「Sub Header」、エリアを[ヘッダー]にして[生成] ボタンをクリックします。

■ パターンを使ってヘッダーを作成する



ホーム以外のページにはキャッチコピーなどのない、ロゴとナビゲーションメニューのみのシンプルなヘッダーを設置します。今回も[パターン]を利用しましょう。

[ヘッダー] カテゴリーから「ヘッダー - 画像背景とオーバーレイ」を選択し、挿入します。

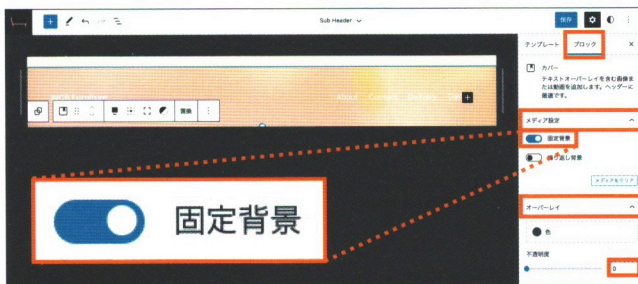


カバーブロックを選択

カバーブロックを選択し、ブロックツールバーの[置換] でメディアライブラリから、またはアップロードして画像を指定します。



デュオトーンフィルターをなし（リセット）にして装飾が反映されるようにします。

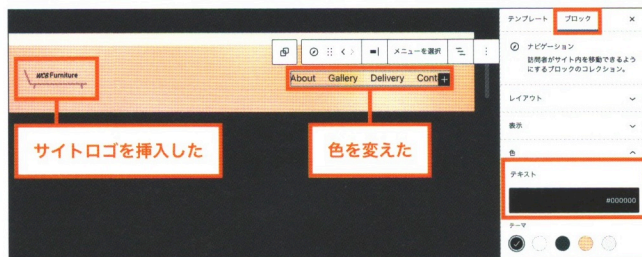


ここでは背景画像を活かしたデザインにしたいため、[メディア設定] で「固定背景」のスイッチをオンにして「オーバーレイ」の「不透明度」を0にしました。

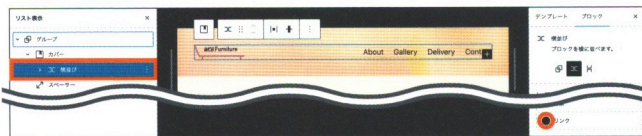
■ サイトロゴとナビゲーションメニューの設定をする

「3-12 ヘッダー部分の作成②ロゴとサイトアイコンを設定しよう」P.174を参考に、左側ではサイトのタイトルブロックを削除してサイトロゴブロックを挿入します。

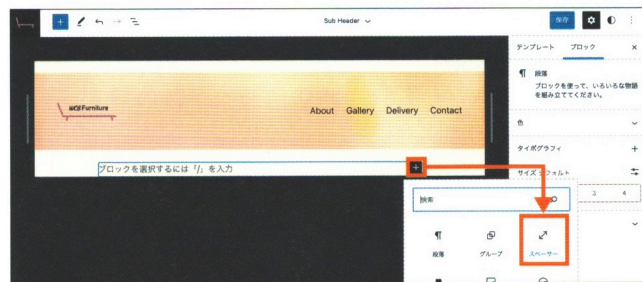
右側の固定ページリストは「3-13 ヘッダー部分の作成③ナビゲーションメニューを作成する」P.178を参考に順番を並べ替えましょう。



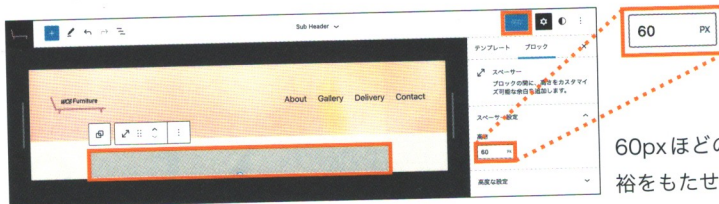
リンクテキストが白くて見づらいので、ナビゲーションブロックを選択し、右側のブロック設定で「色」の項目から「テキスト」の色を黒に設定し、保存しましょう。



もし文字色が変わらない場合は、サイトロゴとナビゲーションブロックを囲んでいる「横並び」ブロックの「リンク」の色を変更してみてください。



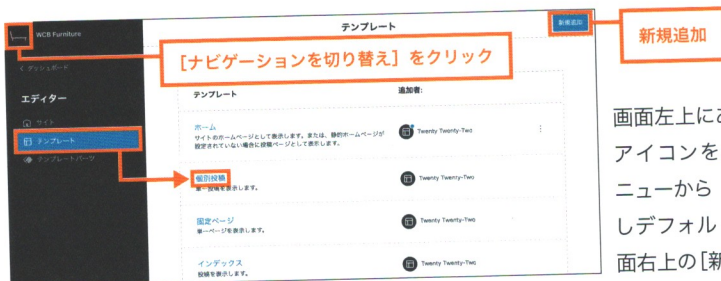
このままだとすぐ下にくる各テンプレートのコンテンツとの距離が近いので、カバーブロックの下に[スペーサー]ブロックをクリックして挿入します。新規ブロックの挿入が難しい場合は一旦カバーブロックを選択した状態で **Enter** キーを押し、右端の **+** アイコンから新規ブロックを追加します。



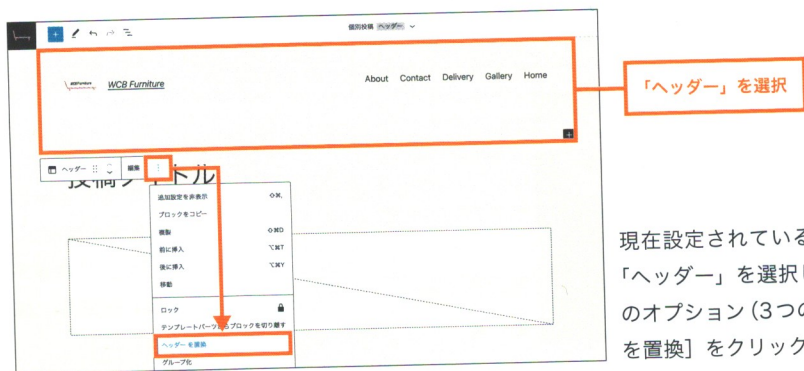
60pxほどのスペーサーブロックを入れて余裕をもたせましょう。保存して確認します。

■ テンプレートパーツを各テンプレートに反映させる

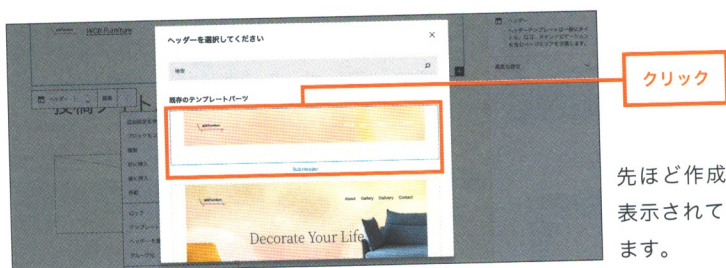
作成した「Sub Header」テンプレートパーツを各テンプレートで置き換えれば完成です。



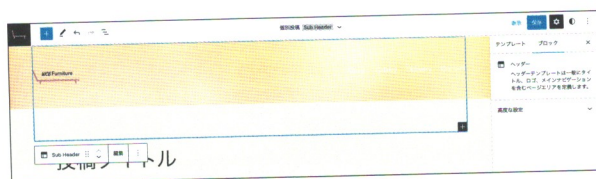
画面左上にある [ナビゲーションを切り替え] アイコンをクリックし、[テンプレート] メニューから [個別投稿] をクリックします。もしデフォルトで表示されていない場合は、画面右上の [新規追加] ボタンから追加できます。



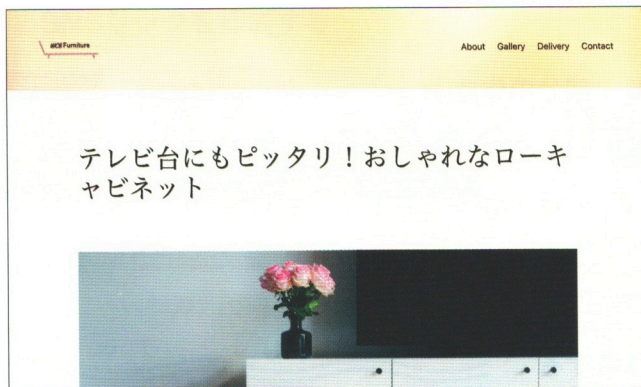
現在設定されているテンプレートパーツの「ヘッダー」を選択し、ブロックツールバーのオプション(3つのドット)から [ヘッダーを置換] をクリックします。



先ほど作成した「Sub Header」パーツが表示されているので、クリックして選択します。



ヘッダーパーツが変更されました！



Sub Headerの設定が反映されている

Webサイトを確認しましょう。個別投稿ページで、設定した「Sub Header」が反映されています。見出しとの距離も適度にあり、見やすくなっています。

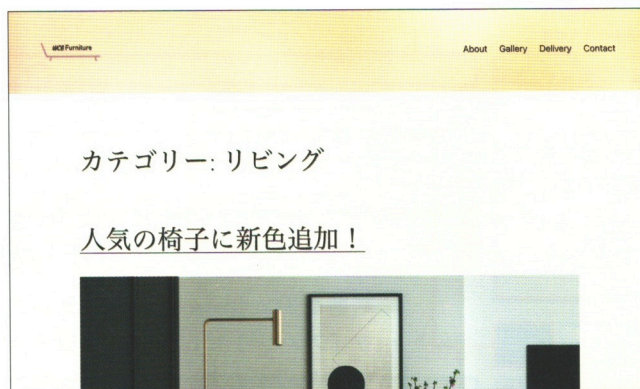
同じ手順で以下のすべてのテンプレートに「Sub Header」を反映させましょう。

- 固定ページ
- インデックス
- 404
- 検索
- アーカイブ



Sub Headerの設定

固定ページ



Sub Headerの設定

アーカイブページ

3-15

CHAPTER

フッター部分の作成①

SNSリンクを作成しよう

最後にフッター部分のテンプレートパーツを作成します。このフッターは全ページ共通で表示したい補足情報やSNSリンクなどを掲載します。

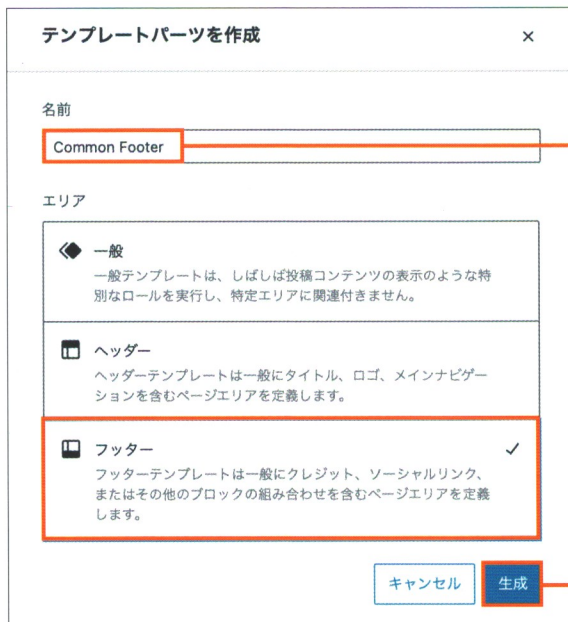
■ テンプレートパーツを新規作成する

「3-11 ヘッダー部分の作成①ヘッダーパーツを用意しよう」P.168と同じ手順で、フッター用のテンプレートパーツを作成しましょう。



[外観] → [エディター] でエディターを開いた後、画面左上の [ナビゲーションを切り替え (サイトアイコン)] からナビゲーションを切り替え、[テンプレートパーツ] メニューをクリックします。そして右上の [新規追加] ボタンをクリックします。

[新規追加] をクリック

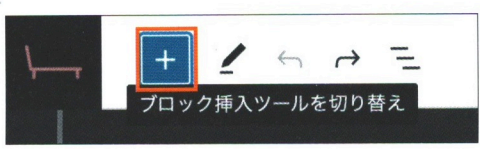


入力する

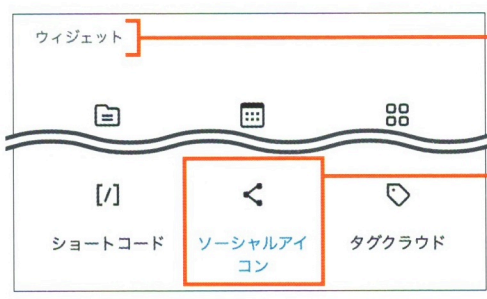
[生成] をクリック

名前を「Common Footer」、エリアを [フッター] にして [生成] ボタンをクリックします。

SNSリンクを作成する



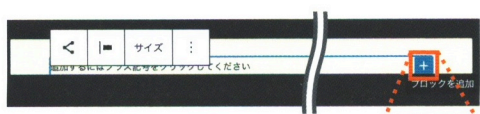
最初は画面に何も表示されていない状態なので、画面左上にある「ブロック挿入ツールを切り替え」をクリックします。



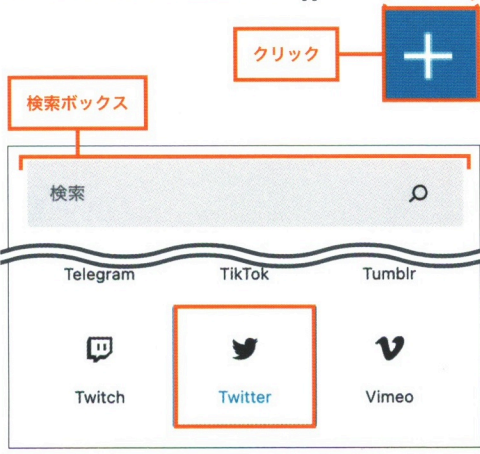
「ウィジェット」の項目

クリック

「ウィジェット」の項目から「ソーシャルアイコン」ブロックをクリックして挿入します。



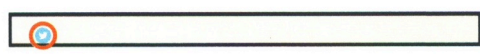
右端にある + アイコンからブロックを追加します。



ここではTwitterへのリンクを作成しましょう。表示したパネル内にTwitterのアイコンがなければ下段の「すべて表示」をクリックし左の画面を表示します。「Twitter」ブロックを探し出しクリックして挿入します。

POINT

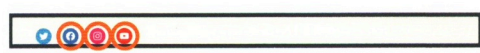
ソーシャルアイコンはたくさんあるので、探すのが難しい場合は上部の検索ボックスから検索してみるとよいでしょう。



アイコンが追加されました！

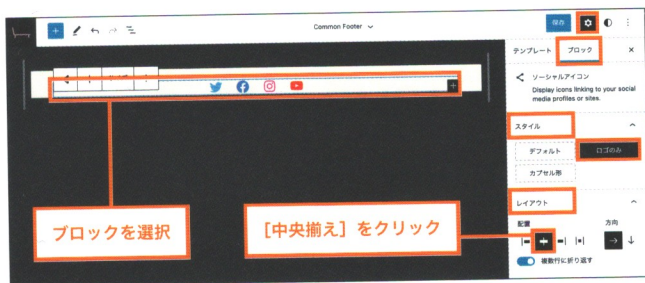


追加されたTwitterアイコンをクリックし、TwitterへのURLを入力します。
完了したら「Enter」キーを押すか、右端の矢印を押して適用しましょう。



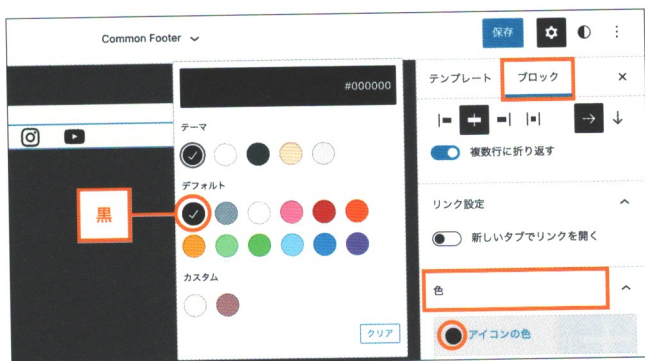
同様に「Facebook」「Instagram」「YouTube」のアイコンを追加しました。

■ ソーシャルアイコンの表示方法を変更する



ソーシャルアイコンはブロックを選択することで、右側のブロック設定から表示方法の変更が可能です。

まずは「スタイル」項目を [ロゴのみ] に、「レイアウト」項目の配置を [中央揃え] にしました。



全体の配色と合うように、アイコンの色も変更しましょう。

同じくブロック設定の [色] 項目で、アイコンの色を黒にします。ソーシャルアイコンの色はWebサイトのメインカラー*と合わせたくところですが、各種SNSサイトの規約で指定された色か、白、黒しか許可されていない場合が多いので、好みの色に変更することは避けましょう。

COLUMN

各種SNSのブランドガイドライン

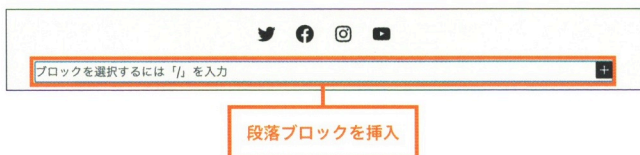
各種SNSで「ブランドガイドライン」が公開されています。アイコンの使用方法や禁止事項がまとめられているので、一度目を通しておくといいでしょう。

- Twitter … <https://about.twitter.com/en/who-we-are/brand-toolkit>
- Facebook … <https://www.facebook.com/brand/resources/facebookapp/guidelines>
- Instagram … <https://www.facebook.com/brand/resources/instagram/icons>
- YouTube … <https://www.youtube.com/howyoutubeworks/resources/brand-resources/#logos-icons-and-colors>

*メインカラー … ロゴなどに使用される、デザインの中点となる色。ブランドカラーとも言われる。

■ 営業時間や住所を掲載

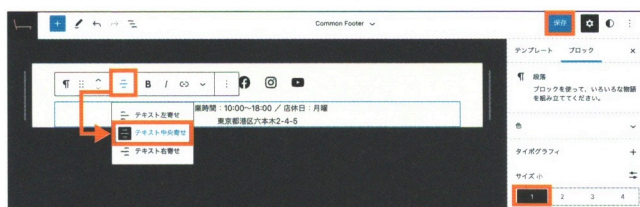
SNSアイコンの下には店舗の営業時間や住所を掲載します。



「ソーシャルアイコン」ブロックの下に段落ブロックを挿入して入力しましょう。

POINT

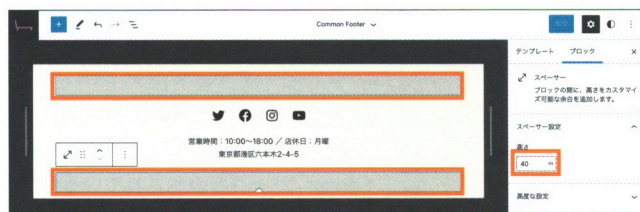
高さがなくてブロックを追加しづらい時はソーシャルアイコンブロックを選択している状態で **Enter** キーを押すと改行できます。



文章の入力が終わったらブロックツールバーから [中央揃え] にし、右側のブロック設定で文字サイズを [1 (小)] にして保存します。

POINT

文章を入力する際、**Enter** キーを押すと下に新規ブロックが作成されます。同じ段落ブロック内で改行したいときは、**Shift** キーと **Enter** キーを同時に押すと文章の改行ができます。



テンプレートに当てはめた時に、上のコンテンツとの間にゆとりをもたせるために、ソーシャルアイコンの上と住所の下にスペーサーブロックを挿入しましょう。どちらもブロック設定で高さを「40px」としました。



フッターのテンプレートパーツが完成です！

3-16

CHAPTER

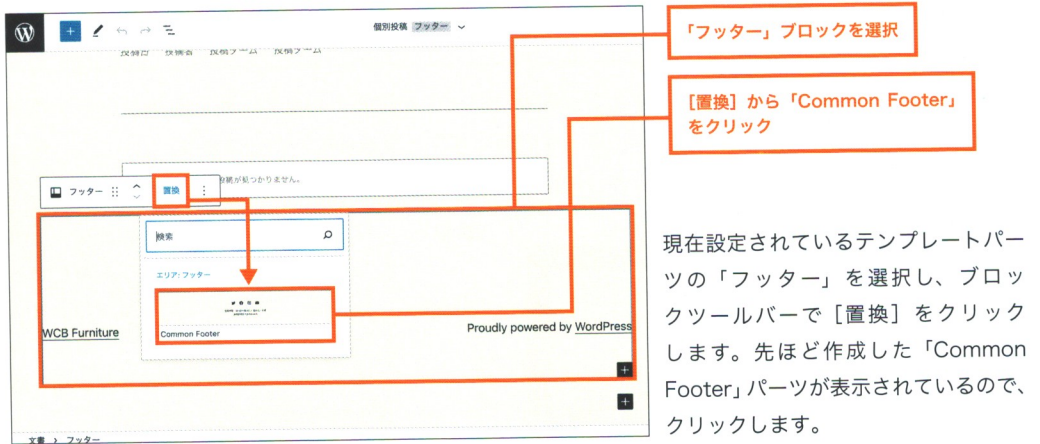
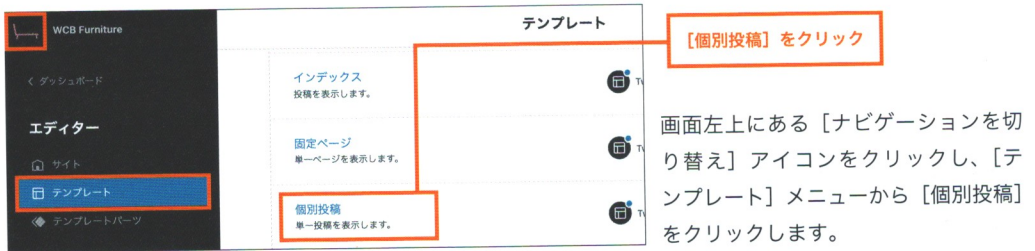
フッター部分の作成②

フッターパーツを設定しよう

作成したフッターパーツを各テンプレートで表示させましょう。

■ テンプレートパーツを各テンプレートに反映させる

あとは「3-14 投稿や固定ページのヘッダーを作ろう」P.184と同様に、各テンプレートにフッターのテンプレートパーツを適用させれば完成になります。







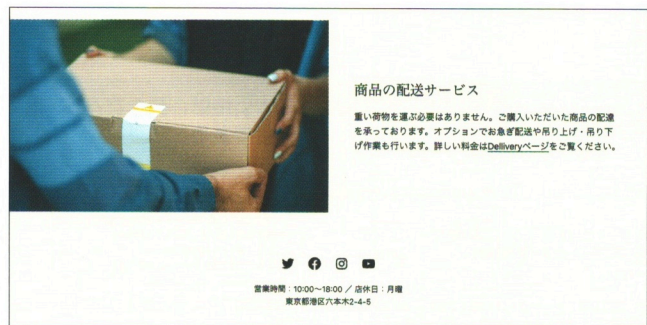



 営業時間：10:00～18:00 / 店休日：月曜
 東京都港区六本木2-4-5

フッターパーツが変更されました！保
 存して確認します。
 個別投稿ページで、設定した「Common
 Footer」が反映されています。

同じ手順で以下のすべてのテンプレートに「Common Footer」を反映させましょう。

- 固定ページ
- インデックス
- 404
- 検索
- アーカイブ
- ホーム



固定ページ



アーカイブページ

これでブロックテーマのカスタマイズができました！
 この他にもWebサイトの目的や用途に合わせて自由に変更してみましょう！











3-17

CHAPTER













ブロッカー一覧

よく利用するブロックをまとめました。「あの表現に対応したブロックはあるかな?」と思った時に見返してみてください。

















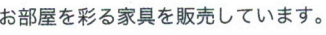


■ テキスト




ブロック名	アイコン	説明	見本												
段落		テキストを挿入	<p>それほど昔のことではありません。その名は忘れませんが、ラ・マンチャ地方のある村に、雄立て台に橋、古い番、産せ馬と住むような型通りの郷土がありました。</p>												
見出し		見出しを挿入	Code is Poetry												
リスト		番号なし、または番号付きのリストを作成	<ul style="list-style-type: none"> • Alice. • The White Rabbit. • The Cheshire Cat. • The Mad Hatter. • The Queen of Hearts. 												
引用		引用文と引用元のあるテキストを挿入	<p>“ 他者の引用は、我々自身への引用である。</p> <p>Juho Cortázar</p>												
コード		コードスニペットを表示	<pre>// 「ブロック」とは、マークアップのまとまりを // 説明するのに使っている抽象的な用語です。 // このまとまりを一緒に組み立てると、ページの // コンテンツまたはレイアウトを形成します。 registerBlockType(name, settings);</pre>												
クラシック		従来の WordPress エディターを使用できる													
整形済みテキスト		スペースや改行をそのままスタイルしてテキストを表示	<p>ザナドゥの外観 - 夜明け - 1948年 (ミニチュア)</p> <p>窓、遠くにとても小さく、明かり、ほとんど真っ暗な画面、今、カメラがゆっくり窓に向かって移動する。</p>												
ブルクオート		視覚的強調を加えた引用テキストを挿入	<p>テクノロジーにおいて最も難しいことのひとつは、自身を破壊することだ。</p> <p>— マイク・フットパル</p>												
テーブル		表を挿入	<table border="1"> <thead> <tr> <th>バージョン</th> <th>ジャズ音楽家</th> <th>リリース日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6.2</td> <td>Jaco Pastorius</td> <td>2019年5月7日</td> </tr> <tr> <td>5.1</td> <td>Betty Carter</td> <td>2019年2月21日</td> </tr> <tr> <td>6.0</td> <td>Bebo Valdés</td> <td>2018年12月6日</td> </tr> </tbody> </table>	バージョン	ジャズ音楽家	リリース日	6.2	Jaco Pastorius	2019年5月7日	5.1	Betty Carter	2019年2月21日	6.0	Bebo Valdés	2018年12月6日
バージョン	ジャズ音楽家	リリース日													
6.2	Jaco Pastorius	2019年5月7日													
5.1	Betty Carter	2019年2月21日													
6.0	Bebo Valdés	2018年12月6日													
詩		特別な余白形式を使ったテキストを挿入	<p>彼は何をしていたのか、偉大な神パン、川辺の葦の中で？</p> <p>彼を捉え、圧迫をまき散らし、山岸の隅でしぶきをあげ、水をかきわけながら金の百合を引きちぎり、トンボとともに川面に浮かべる。</p>												

メディア




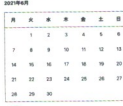


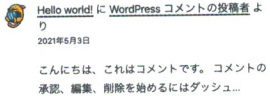







ブロック名	アイコン	説明	見本
画像		1枚の画像を挿入	
ギャラリー		複数の画像を並べて表示	
音声		音楽ファイルを埋め込み	
カバー		画像や動画の上にテキストを重ねて表示	
ファイル		ファイルをダウンロードするためのリンクを設置	
メディアとテキスト		画像とテキストを横並びにして配置	
動画		動画ファイルを埋め込み	

デザイン











ブロック名	アイコン	説明	見本
ボタン		ボタンスタイルのリンクを挿入	
カラム		コンテンツを横に並ぶ複数のカラムで表示	
グループ		ブロックをグループにまとめる	
続き		このブロックより前のコンテンツをアーカイブページの抜粋として表示	
ページ区切り		コンテンツを複数ページに分けて表示	
区切り		水平の区切り線を表示	
スペーサー		余白を挿入	
サイトロゴ		設定しているサイトのロゴ画像を挿入	
サイトのキャッチフレーズ		設定しているサイトのキャッチフレーズを挿入	
サイトのタイトル		設定しているサイトのタイトルを挿入	

アーカイブタイトル		アーカイブのタイトルを表示	カテゴリー: <u>リビング</u>
投稿カテゴリー		投稿のカテゴリーを表示	<u>リビング</u>
投稿タグ		投稿のタグを表示	<u>キャビネット</u> , <u>テレビ台</u> , <u>収納</u>

■ ウィジェット

ブロック名	アイコン	説明	見本
ショートコード		ショートコードで追加のカスタム要素を挿入	
アーカイブ		記事の月別アーカイブを表示	<ul style="list-style-type: none"> • <u>2021年5月</u>
カレンダー		サイトの投稿カレンダーを表示	
カテゴリー		記事のカテゴリーをリスト表示	<ul style="list-style-type: none"> • <u>お知らせ</u> • <u>リビング</u> • <u>未分類</u>
カスタムHTML	HTML	HTMLコードを追加。編集しながらプレビュー可能	
最新のコメント		最新のコメントを一覧表示	
最新の投稿		最新の投稿を一覧表示	<p><u>テレビ台にもピッタリ! おしゃれなローキャビネット</u></p> <p><u>Webサイトをリニューアルしました</u></p> <p>Hello world!</p>
固定ページリスト		すべての固定ページを一覧表示	<ul style="list-style-type: none"> • <u>Contact</u> • <u>Home</u> • <u>About</u> • <u>Gallery</u> • <u>Delivery</u>
RSS		RSSまたはAtomフィードからの投稿を表示	<p>WordPress 5.8 Beta 3</p> <p>WP Briefing: Episode 11: WordPress Europe 2021 in Review</p> <p>WordPress 5.8 Beta 2</p> <p>Subscribe Highlights</p> <p>WordPress 5.8 Beta 1</p>
ソーシャルアイコン		ソーシャルメディアサイトにリンクするためのアイコンを表示	
タグクラウド		よく使用されているタグのクラウドを表示	<u>キャビネット</u> <u>テレビ台</u> <u>収納</u>
検索		検索欄を表示	<p>検索</p> <p>任意のプレースホルダー... <input type="text"/> <input type="submit" value="検索"/></p>

■ テーマ

ブロック名	アイコン	説明	見本
クエリーループ		異なるクエリーパラメータやビジュアル構成に基づいて投稿タイプを表示	<p>人気の椅子に新色追加！</p> <p>テレビ台にもピッタリ！おしゃれなローキャビネット</p> <p>Webサイトをリニューアルしました</p>
投稿タイトル		投稿、固定ページなどのタイトルを表示	人気の椅子に新色追加！
投稿コンテンツ		投稿や固定ページの内容を表示	
投稿日		投稿の日付を追加	2022年12月22日
投稿の抜粋		投稿の抜粋を表示	これまでのWebサイトを一新し、シンプルなデザインのものに変更しました。これまで以上に内容を充実させていきたいと思ひます。引き続きよろしくお願ひします。Twitter Twitterもはじめました。お気軽にフォローして [...]
投稿のアイキャッチ画像		投稿のアイキャッチ画像を表示	
ログイン/ログアウト		ログインとログアウトのリンクを表示	ログイン ログアウト
投稿一覧		最近の投稿の一覧を表示	<p>人気の椅子に新色追加！</p> <p>テレビ台にもピッタリ！おしゃれなローキャビネット</p> <p>Webサイトをリニューアルしました</p>

■ 埋め込み

ブロック名	アイコン	説明	見本
埋め込み		Twitter、Instagram、YouTubeなど、他のWebサイトからコンテンツを引用表示	
Twitter		ツイートを埋め込み	
YouTube		YouTube動画を埋め込み	
Spotify		Spotifyコンテンツを埋め込み	
TikTok		TikTok動画を埋め込み	